昭和44年12月23日第3種郵便物認可　昭和53年12月15日発行（毎月1回15日発行通巻第110号）

バドミントン

12

日本バドミントン協会　The Badminton World No.110　1978



炸裂する11日間

ダイナマイト・セール

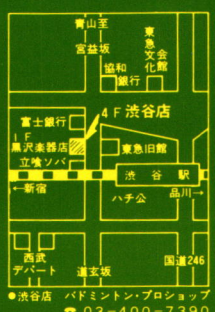
12月15日～25日



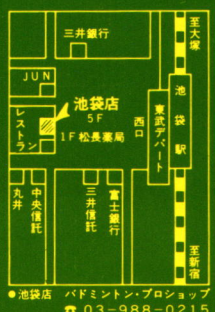
●年中無休

●営業時間　渋谷・池袋店
AM10：00～PM７：00
横浜店
AM10：00～PM８：00

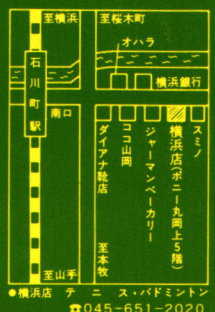
ラケットショップ元町



●渋谷店　バドミントン・プロショップ
☎03-400-7390



●池袋店　バドミントン・プロショップ
☎03-988-0215



●横浜店　テニス・バドミントン
☎045-651-2020



❷ 第33回国民体育大会 天皇杯は熊本、少年男女が活躍	㉕ ハッシュマン夫人著・連載 バックハンド・ストローク
❹ 第33回国民体育大会 千葉、大阪がともに初栄冠	㉙ 山本洋彦・ロンドンにて なぐりこみの記
❻ 第29回全日本学生 早大、創部27年目の初快挙	㉜ 山本洋彦・ロンドンから イギリス版オールスター
❽ 第29回全日本学生 長谷川、３連覇の作業達成	㉟ 寺田太郎・連載 「人形の家」
❾ 第29回全日本学生 石田、気力充実の初栄冠	㊱ ヨーロッパ情報 スティブンスにふさわしい栄誉
⓬ 特別寄稿 27年目の美酒	㊵ 協会からのお知らせ 編集室から
⓮ 特別寄稿 信じた〝３度目の正直〟	
⓲ 栂野尾悦子・連載 歩くこともできない悲しさに耐える	

◇表紙デザイン・構成、本文カット＝野間デザイン室／表紙・本文写真＝赤星三樹（使用カメラ・レンズ＝アサヒペンタックスMX、K2　SMC－P－M50/1.4　SMC－P　200/2.5　300/4）／現像処理＝㈱クリエイトフォト・タカ◇今月の表紙＝1978年度オールジャパン男子シングルス優勝の銭谷欽治選手（河崎ラケット）

第33回国民体育大会

少年男女が活躍

差で大阪

天皇陛下、湯木さんからユ杯奪還報告

第33回国民体育大会秋季大会バドミントン競技は、長野県塩尻市において10月16～19日まで行なわれました。

競技第1日には、天皇陛下のご高覧があり、湯木博恵さんからユーバー杯奪還の報告を満足そうにお聞きになっていました。

周知のように、今年からナショナル・チームのメンバーが国体に出場できなくなり、一抹の寂しさも漂いましたが、それだけに賜杯の行方は混沌として、実力伯仲の熱戦が随所に展開されました。

まず第一に特筆すべき出来事は、少年女子・準決勝で、インターハイ三冠王の北田選手を擁する大阪に、新潟が健闘よく大殊勲をあげたことです。

ダブルスでの終盤、大阪ペアにとっては痛恨のジャッジミス（新潟側も認める）が大きく影響して、シングルスにまで尾を引いた格好でした。

新潟の、インターハイでの不慮の事故と合わせ、これで五分五分といったところでしょうか、因縁めいた両チームの戦いでした。

少年男子は熊本、成年男子（教員）は石川、成年女子は大阪が順当な強味を発揮して優勝に輝きましたが、成年男子（一般）は、千葉が強敵石川、新潟を下して初優勝。

天皇杯得点（男子総合）は、教員、少年男女の活躍により熊本が初の栄光に浴し、2位は大阪、3位は新潟という結果に終わりました。

連日、体育館には多勢の地元ファンがかけつけ、立見席も満員の盛況ぶり、大いに活気を呈していました。

▼成年男子（一般）準々決勝

千葉 2（D1—0 S1—0）0 青森

石川 2（D1—0 S1—0）0 北海道

神奈川 2（D0—1 S2—0）1 富山

新潟 2（D1—0 S1—0）0 熊本

▼同準決勝

千葉 2—1 石川



ユーバー杯奪還の報告を受け、天皇陛下もニッコリ

天皇杯は熊本、2位には小

高校女子、因縁の対決今度は新潟に軍配

▼成年女子準々決勝（千葉は初優勝）

東京 2 (S 2-0 D 0-1) 1 北海道
福岡 2 (S 1-0 D 1-0) 0 岐阜
栃木 2 (S 1-0 D 1-0) 0 岡山
大阪 2 (S 1-0 D 1-0) 0 秋田

▼同準決勝

福岡 2-0 東京
丸山 桶本 2 (15-10 15-10) 0 渡辺 高田
山口 2 (11-5 8-11 11-7) 1 稲垣
秋本 谷 2 (17-14 17-16) 0 日山 沼能
東海林 2 (12-11 11-3) 0 日向野
大阪 2-0 栃木

▼同3位決定戦

栃木 2-1 東京
日山 沼能 2 (15-2 12-15 15-3) 1 渡辺 稲垣
日向野 0 (1-11 3-11) 2 渡辺

▼同決勝

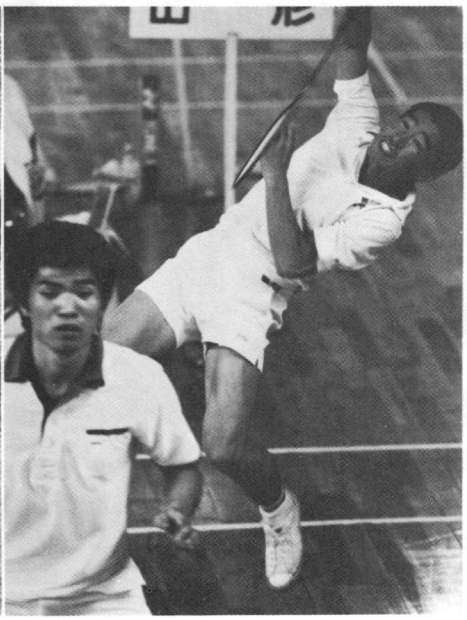
千葉 2-0 新潟
西村 田所 2 (15-12 15-4) 0 丸山
大場 田所 2 (15-6 15-6) 0 鈴木 棒

▼同3位決定戦

石川 2-0 神奈川
堂谷内 2 (15-10 15-5) 0 中山
相川 米 2 (15-2 15-14) 0 笠井 宮川

鈴木 2 (15-9 15-10 13-15) 1 笠井
丸山 2 (15-12 18-17) 0 中山
鈴木 棒 0 (8-15 10-15) 2 笠井 宮川
新潟 2-1 神奈川
田所 2 (15-7 15-2 13-15) 1 米
西村 1 (9-15 11-15 15-10) 2 堂谷内
大場 田所 2 (15-7 13-15 15-4) 1 米 相川





（左）新潟県チーム（右）熊本、本石・権藤組

第33回国民体育大会

がともに初栄冠

奈川に不覚——成年男子

成年女子・福岡は無名の気鋭が大健闘の2位

▼同決勝

| | | |

成年男子（一般）千葉、（女子）大阪

本命・富山、神

教員男子は、スタミナ自慢の強者が単に活躍

▼成年男子（教員）準々決勝

石川	2	S 1—0	D 1—0	0	香川		斉藤	2	12—11	11—7	0	海賀		中沢	2	15—4	15—3	0	高田	上野		月岡	2	15—4	15—3	0	高田	上野

（新潟は4年ぶり3回目）

▼同決勝

新潟	2—0	栃木		原口	2	12—10	11—7	7—11	1	高峰彰		大川合	2	15—9	15—5	0	高峰和	北田	2	15—9	15—5	0	高峰和	北田

▼同3位決定戦

大阪	2—0	熊本		上野	2	11—4	11—5	0	高峰彰		高田	上野	2	15—13	15—13	0	川添	栃木	2	2—0			中沢	2	11—8	11—7	0	北田	
				斉藤	0	0—11	7—11	2	原田			中岡	2	15—12	17—16	13—18	1	合田川											

▼同準決勝

石川	2—0	青森		長谷川	2	17—15	15—6	0	宮崎	佐藤		和田	2	15—4	15—2	0	花田		群馬	2	S 1—1	D 1—0	1	北海道		熊本	2	S 1—0	D 1—0	0	大阪		青森	2	S 1—1	D 1—0	1	三重	

▼同決勝

石川	2—1	群馬		長谷川	0	12—15	6—15	2	栗原	今井		工藤	2	15—1	15—0	0	宮崎		熊本	2	15—8	15—12	0	宮崎	佐藤	青森	2	15—4	15—1	0	稲津		岩崎	2	15—13	15—9	0	工藤	
				今井	1	12—15	12—15	17—14	2	稲工津藤		群馬	2	1		熊本																							

▼同3位決定戦

熊本	2—0	青森		稲津	2	15—8	15—12	0	宮崎	佐藤		今井	2	15—4	15—1	0	稲津		岩崎	2	15—13	15—9	0	工藤		栗原	1	12—15	12—15	17—14	2	稲工津藤		群馬	2	1		熊本	

和田	2	15—4	15—2	0	花田		長谷川	2	17—15	15—6	0	宮崎	佐藤	石川	2—0	青森															
岩崎	2	15—6	15—2	0	花田														
長谷川	2	15—15	15—8	3	今井														

（石川は4連勝9回目）



4連勝・9回月は偉業、石川県チーム（教員男子）



初優勝は意外な感、大阪府チーム

●第29回全日本学生バドミントン選手権大会 10／16～22●名古屋

団体

早大、創部27年目の初快挙

日体大順当に7回目の制覇

（女子）（男子）

▼男子団体準々決勝

中央大 3（S1-0 D2-0）0 慶応大
法政大 3（S1-0 D2-0）0 近畿大
早大 3（S1-0 D2-0）0 日体大
日本大 3（S1-0 D2-0）0 大経大

▼同準決勝

法政大学 3（S1-0 D2-0）0 中央大学
冨田 0 / 酒井 2 ／ 15 15 8 / 15 10 12 15 ／ 1 長谷川 / 西山
毛利 0 / 宮峰 0 ／ 5 5 / 15 15 ／ 2 長谷川 / 米山 2 管
冨田 0 / 酒井 2 ／ 15 15 8 / 15 10 12 15 ／ 1 長谷川 / 西山
宮峰 0 / 米山 2 管 ／ 6 10 / 15 15 ／ 2 管

▼同3位決定戦

中央大学 3（S1-0 D2-0）0 日本大学
亀谷 2 / 平野 1 ／ 15 15 12 / 8 12 15 ／ 1 日比野 / 高橋
平野 1 / 石黒 2 ／ 4 15 15 / 15 8 18 ／ 2 高橋 / 坂本
石黒 2 / 橋川 1 ／ 15 14 5 / 10 17 10 ／ 1 坂本 / 加藤
橋川 1 / 亀谷 2 ／ 4 15 10 / 15 12 15 ／ 2 加藤 / 伊東
早稲田大 3（S1-0 D2-0）2 日本大学
水内 2 / 平野 2 ／ 15 15 / 10 9 ／ 0 高橋 / 勝木
亀谷 2 / 平野 2 ／ 15 15 9 / 10 10 15 ／ 1 吉岡 / 宮森

▼女子団体準々決勝

米山 2 管 ／ 17 5 15 / 14 15 12 ／ 1 伊東 / 加藤
長谷川 2 / 西山 2 ／ 15 15 / 9 9 ／ 0 高橋 / 勝木
管 2 ／ 15 15 / 9 9 ／ 0 日比野
早稲田大 3（S1-0 D2-0）1 法政大学
水内 2 / 平野 2 ／ 18 15 / 14 10 ／ 0 宮峰 / 宮森
亀谷 2 / 橋川 1 ／ 11 15 8 / 15 10 15 ／ 2 冨田 / 酒井
石黒 2 ／ 15 15 / 6 10 ／ 0 宮森
平野 2 ／ 15 15 / 6 4 ／ 0 峰
（早稲田大学は初優勝）

▼同準決勝

日体大 3（S1-0 D2-0）0 青学大
東京女体大 3（S1-1 D2-0）1 北海道女短大
四条畷女短大 3（S1-0 D2-0）0 大妻女子大学
日本女体大 3（S1-0 D2-0）0 武庫川女子大
日体大 3（S1-0 D2-0）1 東女体大
関根 2 / 大塚 2 ／ 15 15 / 6 10 ／ 0 沢内 / 高岸
大塚 2 / 徳永 0 枝 ／ 14 17 / 17 18 ／ 2 柴田 / 川島
関根 2 ／ 12 11 / 10 6 ／ 0 高岸
大塚 2 ／ 11 11 / 4 1 ／ 0 塚本
日女体大 3（S1-0 D2-0）0 四条畷短
石田 2 / 渡辺 2 ／ 15 15 10 / 10 11 15 ／ 1 石川 / 前川
小寺 2 / 原田 2 ／ 15 14 15 / 12 17 7 ／ 1 河村 / 平
石田 2 ／ 11 11 3 / 5 2 11 ／ 1 石川

▼3位決定戦

四条畷短 3（S1-0 D2-0）2 東女体大
平 2 / 河村 1 ／ 11 0 11 / 11 11 4 ／ 2 高岸 / 沢内
河村 2 / 石川 0 ／ 15 15 / 4 12 ／ 0 高岸 / 柴田
前川 0 / 柴田 2 ／ 4 11 / 15 15 ／ 2 柴田 / 川島
平 2 ／ 11 11 / 0 6 ／ 0 塚本



感激もひとしお、初優勝の早大チーム

▼同決勝

日体大	3	—	2	日女体大	
関根	2		0	小寺	15—6
大塚		15—9		原田	9—15
藤井	0		2	石田	10—15
枝		3—15		渡辺	15—10
大塚	2		0	原田	11—2
		11—9			11—2
宮野	0		2	小寺	2—11
		8—11			11—8
石川	2		0	沢内	11—8
		11—2			

（日本体育大は2年連続7回目）

関根	2		1	石田	11—4
		11—5			5—11
		4—11			11—4

〈男子〉

準決勝で常勝中央大学を破り2年ぶりの決勝進出を果たした法政大学と、苦しいゾーンを勝ち抜いた早稲田大学の戦いとなった。

両校にとっては、関東秋季リーグ戦4位、5位のうっぷんを晴らしたものといえよう。

第1ダブルス宮森・峰組対水内・平野組は、最初から気合い十分な好ゲームとなったが、法大ペアは1、2ゲームともあと一歩というところまで追い込みながら、最後の押しに欠けて早大ペアの冷静な配球に逃げ切られた格好。

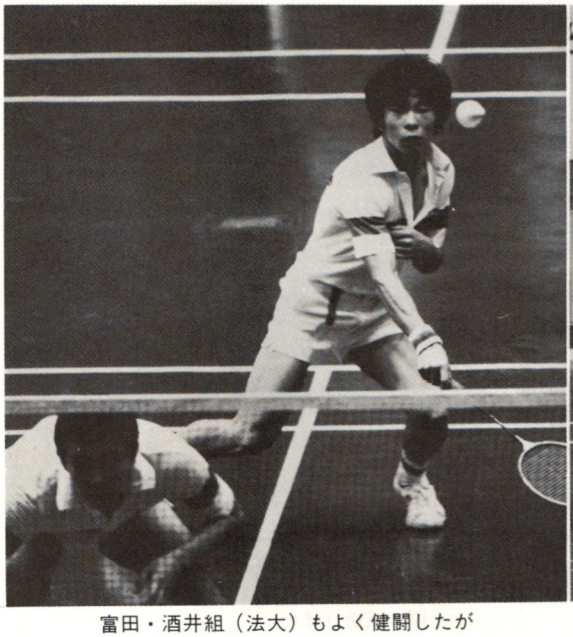
第2ダブルス富田・酒井組対亀谷・橘川組の対戦は、1ゲームを難なく取った法大ペアが、2ゲーム目になると早大ペアの最後まであきらめない執拗なレシーブに手を焼きゲームオール。

ファイナル・ゲームは、両ペアとも心気一転して激しい攻防が繰り返されたが、11オールから法大ペアの角度のある攻撃とタッチの速さがまさり、ダブルスはお互い星を分け合った。

宮森対石黒の第1シングルスは、長いラリーの応酬が少なく、単発的な試合となったが、宮森の攻撃をうまくかわし、逆に攻撃に結びつけた石黒に軍配が上がった。

第2シングルスは、高校時代の先輩・峰、後輩・平野の争いになり、有利と思われた峰にかえってプレッシャーがかかり、意外な大差となった。

対日大戦で高橋とファイナル


富田・酒井組（法大）もよく健闘したが


激戦を切り抜けて7回目の優勝、日体大チーム

男子個人

単―長谷川、3連覇の偉業達成

複―管・米山組、堂々の初優勝

▼男子シングルス準々決勝

長谷川（中大）2 — 0 浅沼（日体）　15—6 / 15—11

鏑木（日体）2 — 1 冨田（法大）　6—15 / 15—8 / 15—3

▼同準決勝

吉岡（中大）2 — 0 西山（中大）　15—5 / 15—12

高橋（日大）2 — 1 管（中大）　15—5 / 15—11 / 12—15

▼同決勝

長谷川 2 — 0 鏑木　15—6 / 15—6

高橋 2 — 1 吉岡　15—4 / 15—9 / 10—15

▼男子ダブルス準々決勝

長谷川 2 — 0 高橋（長谷川は3連勝）　15—10 / 15—10

管 / 米山 2 — 1 大石（日体）　15—6 / 12—15 / 15—5

水内 / 平野 2（早大） — 1 細谷（中大）　8—15 / 18—13 / 18—13

冨田 / 酒井 2（法政） — 0 上原（中大）　15—9 / 15—4

船本 / 滝川（中大）



ポイントゲッターとなった石黒（早大）

早稲田の初優勝が決定した。創部27年目の快挙である。

・ゲームの好試合をした平野は、伸び伸びとしたプレーでポイントを重ね、峰を一方的に降して

〈女子〉

準決勝の対東女体大戦に3対1で勝った日体大と、対四条畷短大戦にストレート勝ちを収めた日女体大の決勝進出は、ほぼ予想通りといったところか。

第1ダブルスの原田・小寺組は、出足こそ好調なレシーブを見せたものの、次第に関根・大塚組が力を発揮して、まず日体大が1ポイントを獲得。

しかし、関根、大塚の力に依存する日体大も、この2人以外ではなかなか得点を挙げることができず、善戦はするが善戦が精一杯といったところ。

結局2対2のタイになり、両校のエース、関根、石田の対戦に勝負は持ち込まれた。

石田は出足よく第1ゲームを先取したが、関根も石田のフェイントのかかったショートサービスに苦しみながら、ジリジリと自分のペースをとり戻し、本来の重厚なプレーでキャプテンの責任を果たした。

久しぶりに決勝戦らしい、白熱した試合だった。



今大会大活躍の高橋（日大）

女子個人

単——石田、気力充実の初栄冠
複——大塚・関根組、貫禄の2連覇

▼女子シングルス準々決勝

関根（日体）2 — 1 高岸（東女体）
11—4, 11—6, 8—11

河村（四条畷）2 — 1 原田（日女体）
12—10, 9—11, 11—7

大塚（日体）0 — 2 枝（日体）
11—1, 11—6

石田（日女体）2 — 0 宮野（日体）
11—0, 11—2

▼同準決勝

関根（日体）2 — 1 石田
11—8, 11—9

石田 2 — 1 大塚
11—1, 7—11, 11—9

長谷川 西山（中大）2 — 0 平野 鏑本（日体）
15—4, 15—5

▼同準決勝

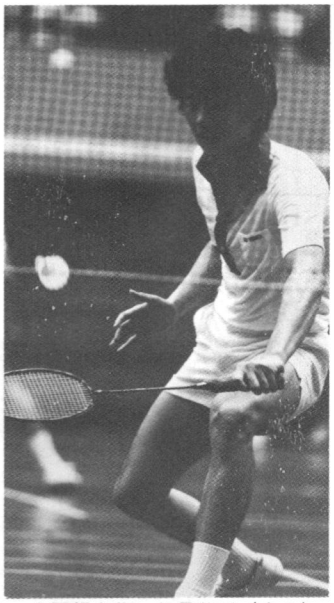
管 米山 2 — 1 水内 平野
15—5, 15—6, 12—15

長谷川 西山 2 — 0 冨田 酒井
15—4, 15—9

▼同決勝

管 米山 2 — 1 長谷川 西山
5—3, 15—12, 7—15

（管・米山組は初優勝）



大記録を作った長谷川（中大）

〈シングルス〉

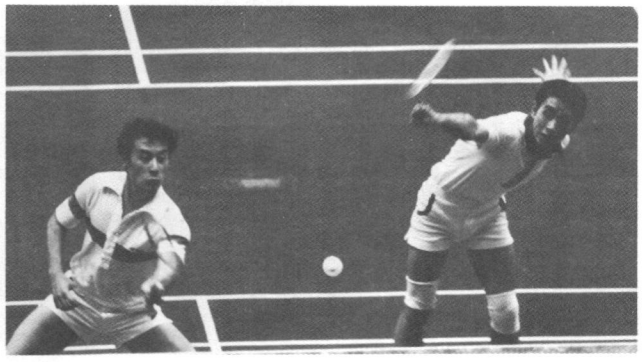
決勝は予想通り、長谷川対高橋の激戦となった。

余裕十分に勝ち上がってきた長谷川に対し、高橋は管、吉岡の中大勢とファイナル・ゲームの連続を切り抜けての進出だった。

立ち上がり、長谷川はいつになく凡ミスが多く、高橋が10—7とリード、しかし3連覇を狙う長谷川も、そこから敢然と打って出て一挙に挽回し、第1ゲームを先取した。

第2ゲームになると、今度は高橋に元気がなく、長谷川が10—3と大きく引き離した。あとがない高橋は、ここで得意のスマッシュ攻撃に出て10オールとし、試合はにわかに盛り上がったが、この日単複4試合を消化している長谷川は、第2ゲームにすべてを賭ける意気込みを見せて逃げ切った。

インカレ男子シングルスに3連勝は過去にない快記録。長谷川の好素質を示す証明書といえよう。



最終学年を飾った管・米山（中大）

〈ダブルス〉

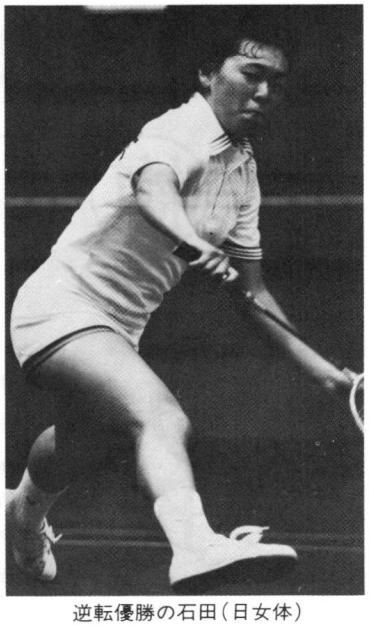
団体戦優勝の余勢をかってベスト4へ進出した水内・平野組を、ファイナル・ゲームの末降した管・米山組と、団体戦の雪辱を果たして冨田・酒井組にストレート勝ちを収めた長谷川・西山組の決勝戦となった。

第1ゲームは、終始リードのまま長谷川・西山組の完勝。

しかし、管・米山組は試合巧者らしさを発揮、第2ゲームの12オールから3ポイント連取してファイナル・ゲームへと持ち込み、ファイナル・ゲームでも終盤の勝負どころを13—12、14—13と一歩も譲らず、念願の初優勝に輝いた。

▼同決勝

石田2（11—5, 11—3, 8—11）1関根



逆転優勝の石田（日女体）

平河村2（18—14, 15—8）0沢内高岸

▼同決勝

大塚関根2（15—4, 15—5）0平河村

（大塚・関根組は2年連続）



1年生ながら上位上賞を果たした平・河村（四条畷短大）

▼ダブルス準々決勝

大塚関根2（15—4, 15—5）0中沢鹿野（日体）

小寺原田2（15—2, 15—4）0宮野平野（日女体）

沢内高岸2（15—5, 15—6）0松枝藤井（東女体）

河村平2（15—8, 15—12）0枝徳永（四条畷）

▼同準決勝

大塚関根2（15—10, 15—7, 12—15）1小寺原田

〈シングルス〉

女子シングルスは、準々決勝から実力伯仲の好試合の連続だった。

まず、第1シードの関根に食らいついたのが高岸。進境著しい高岸はスピードで関根を上回るものがあったが、試合の駆け引きがあと一歩だったし、準決勝の河村は粘りの点では関根に劣らないものがあったが、決め手があと一歩だった。

大塚も、石田と長いラリーの応酬を見せたが、シングルスの辛抱強さがあとひと息か。

関根と石田は、これらの難敵を倒しての決勝進出であった。

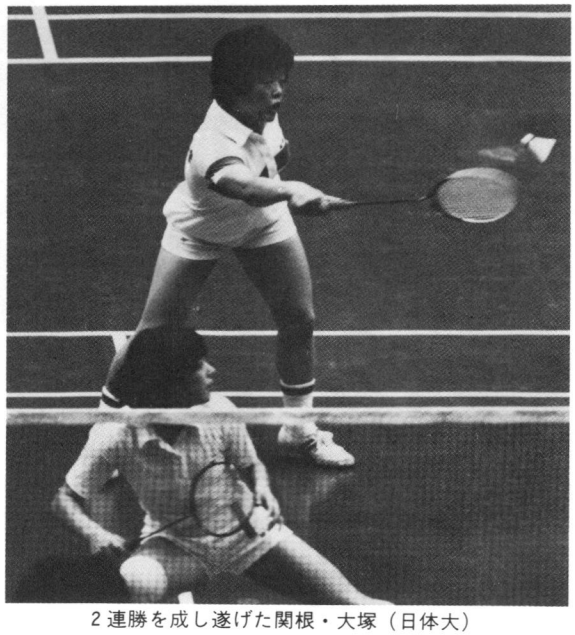
石田は関根に対し、過去7連敗が信じられないような強気な攻めで主導権を握った。

第1ゲームこそ取られはしたものの、コーナーへ絶妙なコントロールを配し関根の疲労を誘い、スピードの鈍った関根の左右へスマッシュを適確に決めてポイントを重ねた。

関根にとっては、連日の大接戦による体力の消耗が、集中力を欠いた一番の原因か。

〈ダブルス〉

大塚・関根組が、昨年に続き安定した実力を発揮、準決勝の小寺・原田組に苦戦したほか、マイペースの試合に終始、順当な勝ち方を見せた。



2連勝を成し遂げた関根・大塚（日体大）

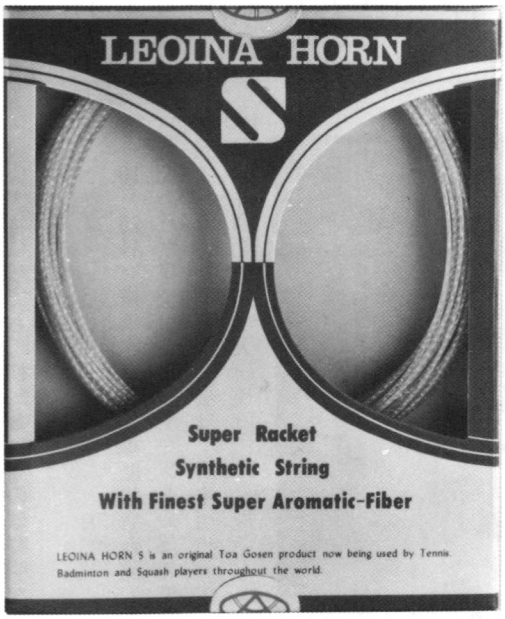
ベスト4へは、日体大から優勝した大塚・関根組、四条畷短大から平・河村組、日女体大から小寺・原田組、東女体大から沢内・高岸組と、東西4強が進出。最近の勢力分布そのままの現象となった。

しかし、大塚・関根組の攻撃力は一枚上、精神的にも波の少ないところを見せ、堂々と2連覇を成し遂げた。



RACKET BADMINTON STRINGS

世界のトーアが贈る バドミントンガットシリーズ



レオイナ　ホーン
LEOINA HORN S



グラファイト　レオイナ
GRAPHITE LEOINA 66



レオイナ　シープ
LEOINA SHEEP 66



トーア　ストリングス
TOA-STRINGS SSW



トーア　ストリングス
TOA-STRINGS SSW

東亜合繊株式会社

〒658　神戸市東灘区本山中町4丁目7番5号
電話　神戸　078　(441)　2001(代)～5番

祝勝会は大盛況

27年目の美酒

異口同音に〝甲斐があった〟

秋もすっかり深まり、例年よりひと月早いオールジャパンも終了しましたが、そんな編集部の机に、ぶ厚い封筒が届きました。

早稲田大学関係者からの〝インカレ初制覇〟の喜びの寄稿です。

プロ野球ではヤクルト・スワローズが29年目に初優勝に輝き、今秋の大きな話題となりましたが、早稲田大学も27年目の快挙。

いずれにしても〝初〟というのは鮮明な印象を与えてくれるものです。

10月29日、横浜中華街「重慶飯店新館」で行なわれた早稲田大学バトミントン部の第29回インカレ初優勝祝賀会は、清水司バトミントン部副部長の早大総長就任のお祝いも兼ねて、OB44名、現役26名、総勢70余名が出席しまことに盛大な会となりました。

ここに喜びの声を収録いたします。



万感こめて「ワッショイ、ワッショイ」



祝勝会もこの上なく盛大

●河村秀平（部長）

ずっと部長でいたかいがあった。皆よくやってくれた。

今日の日を　待つ続けたるや　夢心地

●登坂洋（監督）

この1年、技術の向上とともに精神面での鍛練が実り初優勝することができた。対日体大、対日大戦はいずれも会心のオーダーで、選手も期待通りのプレーをしてくれた。決勝の対法大戦はリーグ戦でも勝っているので案外気楽に戦えた。高校時代、無名選手が多いうちの大学で、自分達も努力すれば勝てると

インカレ初優勝の早大関係者から



いう自信を今後持ってくれれば……。

●**亀谷幸生**（主将）

学生時代をバドミントンに傾倒した一人として〝優勝〟を心から喜びたい。いま心に浮かぶのは〝努力にまさる天才なし〟という言葉です。

●**津田信一**（ＯＢ会良）

〝為せばなる、為さねばならぬ何事も
　為さぬは人の
為さぬなりけり〟

勝ち取った優勝、これを保つには3倍の努力あるのみ。全員の奮闘を望む。●

●**菊地利明**（ＯＢ会副会長）

仕事の都合で名古屋へ行くかどうか決めかねていたが、後輩の鬼宗利に「一生後悔する」といわれて出かけて行った。27年間の月日は長かったが、これから一生いえる（優勝を）ことに比べたら、まだ短かい方だなあ！

〈優勝メンバーの紹介〉

部長・河村秀平・早大理工学部教授
副部長・清水司・早大理工学部教授
監督・登坂洋・昭和41年卒
ヘッドコーチ・関一誠・昭和43年卒
コーチ・今井茂満・昭和47年卒
主将・亀谷幸生・4年・高松商校出身
副将・渡辺雅弘・4年・松阪高校出身
主務・等々力雅彦・4年・早稲田学院出身
選手・石黒伸久・3年・熊本高校出身
選手・水内浩・3年・金沢市立高校出身
選手・橘川光孝・3年・仙台商業高校出身
選手・平野勝彦・2年・高松商業高校出身


優勝の原動力となった水内・平野の３年生ペア

信じた〝3度目の正直〟

●福井正康

去る10月16日から愛知県体育館で行なわれた第29回全日本学生バドミントン選手権大会早稲田は決勝戦の法政大学を3対1で破り、見事初優勝を成し遂げた。

早稲田は慶応、明治、立教、法政に次ぐ長い歴史を持ってはいるものの、これまでインカレや関東リーグ戦の優勝はなく、今期の秋季リーグ戦では中大、日体大、日大に続き4位となり、インカレ初制覇は意外の感もあった。ただしリーグ戦では3複4単の試合形式が、インカレでは2複3単と異なり、ここに早稲田の勝因がひそんでいたともいえる。

今回のインカレでは、関東リーグの上位5校にそれぞれ優勝のチャンスがあったと思われるが、なかでも最右翼はインカレ5連覇の実績を持さ、なかでもリーグ戦に優勝の中大が長谷川、管、米山の3人の4年生と、新鋭西山を加える最強の陣容で優勝の呼び声が高かった。

さらに関東選手権チャンピオンの高橋を擁する日大、富田、酒井、宮森の充実した3年生をズラリ並べた法大など、実力紙一重の強豪がひしめき合い、予断を許さなかったのは事実であった。

一方、早稲田は東日本単1位の石黒、2位の主将亀谷が好調で、しかも東日本ダブルス優勝の水内・平野と単複ともに穴のない陣容は、オーダー次第ではひと波乱起こしそうな気配十分であった。

青山学院を3対1、日体大を3対2、準決勝では日大を6時間の戦いの末3対2で降し決勝へ、他方法大は準決勝で本命中大を、富田、宮森等の活躍で破って決勝進出を果した。

† † † † †

早稲田が〝決勝へ進出〟したとの朗報を聞き、あたふたと名古屋へ向けて東京を発ったのは10月19日の早朝のことである。菊地先輩と後輩の鬼君が一緒だった。

相手は法大である。リーグ戦では4対3と勝ってはいるものの、インカレは試合形式も違うし法大には名うてのダブルス上手が揃っている。

早稲田に優勝経験がないのも不安材料のひとつである。しかしわれわれは格言〝三度目の正直〟を信じた。

そう早稲田のインカレ決勝進出は3度目なのだ。9年に1度の数字だ。知らず知らず思いは過去の2回に走る。

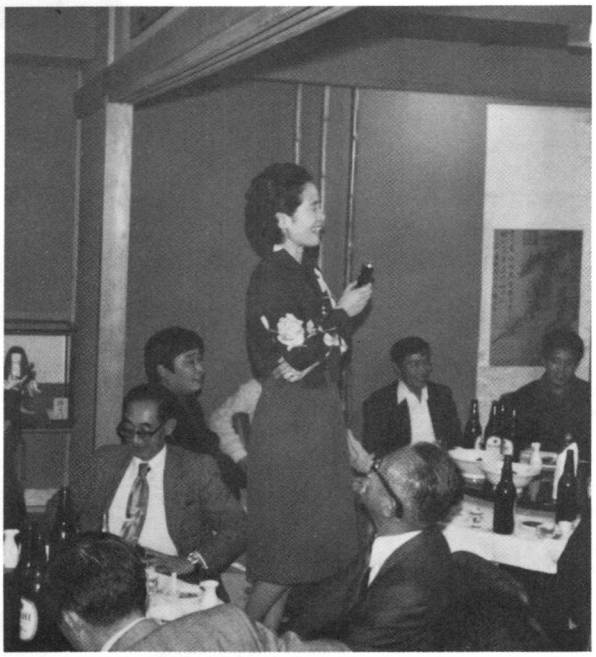
最初は44年神奈川県大和市であった。相手は中大、本間、今泉、岩下がいてこれは強かった。ダブルス2敗のあと大森（七尾高出）が今泉と激戦を展開したが、結果は3対0のストレート負けだった。

2度目は46年仙台でのインカレである。今井、二上、及川、本間と充実したメンバーだ



待ちに待ったこの一瞬

インカレ初優勝の早大関係者から



遠路はるばる駈けつけた婦人部隊

ったが、相手の法大にはダブルスの名手草島、田所がいて、これを警戒するあまりオーダーに失敗し、結局3―0と敗れ去った。

そして今度の相手は、中大を降し意気上がる法大ということで、車中は重苦しい雰囲気だった。

無理もない、当時わたしが監督、鬼君がコーチ、そして菊地先輩もわざわざ期待をかけて仙台へかけつけたのだから……7年ぶりのチャンスに新幹線に飛び乗ってみたものの、心中去来するのは仙台でのみじめな敗退であった。

新聞を見ながらついに先輩が口火を切ってくれた。「ヤクルトが29年目に優勝したし、これでインカレで早稲田が優勝すれば、早慶戦も絶対間違いなく優勝だなあ」

さりげなく野球にかこつけて優勝という言葉が出てくる。これがまた辛いのである。

やがて名古屋へ着いた。素晴らしい快晴であった……。

（元監督、河崎ラケット勤務）

発売中

本誌別冊

1979年版カレンダー

バドミントン・ワールド'79

●B3判（本誌の4倍大）
●金具綴じ・表紙とも7ページ
●カラー6ページ
●収録選手＝銭谷欽治、飯野佳孝、土田証雄、長谷川博幸、湯木博恵、近藤小織、徳田敦子、高田幹子、植野恵美子、米倉よし子

定価＝1200円（発送料450円）

お申込みは本誌巻末とじ込みの振替用紙で！

バドミントン界編集部


ただいま到着、池袋。どっさり、でっかく東口。
池袋店オープン!
洋菓子のタカセビル6・7階
毎月曜日定休
富士銀行
新日本証券
三菱デパート
和銀行
三銀
野村証券
東口
池袋パルコ
西武デパート
池袋駅
豊島区東池袋1-1-4 タカセビル6・7階
TEL.03(989)0401
営業時間 (平日) 午前10時～午後7時30分
(休日) 午前10時～午後7時
日本最大の
テニス・バド専門店
信頼のマーク
WINDSOR
ウインザー ラケットショップ。
●新宿店☎03(363)6848●横浜店☎045(453)1785●渋谷店☎03(464)9251



着るもよし。持つもよし。こちらヨネックス感覚。

機能をつきつめたものは美しい。ヨネックスはこの考えを基にして、たくさんのスポーツウエアをおとどけしています。白を基調に、ヨネックスのシンボルカラーであるブルー& グリーンをアクセントにしたもの、そのほかシャレた色づかいのものなど、種類もサイズも豊富です。年齢や性別をこえ、国境をこえて、トッププレイヤー達の身をつつんでいます。またスポーツバッグにしても、細かい親切設計でデザインされています。同じ型でありながら一週間用、4～5日用、1～2日用など大・中・小とそろえたり、多目的に使えるものもあったりで、選ぶ楽しさじゅうぶん。色は白が中心ですが、濃緑、濃紺、茶などいろいろあります。さて、スポーツシューズもヨネックスの自慢。靴底が機能的な設計ですから、フットワークが生きてきます。スポーツをサイエンスの目でとらえ、そして美しい形を仕上げる芸当。これぞヨネックス感覚です。

YONEX®

エッコのバドミントンライフ

⑮ 栂野尾悦子

歩くこともできない悲しさに耐える

一九七一年三月、二度目のヨーロッパ遠征で、今年こそは、きっと全英のダブルス優勝をと、闘志をあらわにして出かけたのです。

しかしデンマークオープンでどうもひざの具合がおかしいのに気づいた私は、全英でシングルスをキケンし、ダブルス一本にしぼったのです。結果は、昨年と同様、準決勝で敗れ、またしても念願達成はなりませんでした。

引き続き参加したカナダオープン決勝は日本同士となり、せめて、この大会だけでもタイトルをと、やっきになっていたやさき、ポイントが進んで中盤ごろ、ラウンド・ザ・ヘッドでジャンプしながらスマッシュを思いきり打ったその瞬間、〝ガキッ！ゴキッ、ゴキッ!!〟とまるで全身の骨が砕ける音が体の中から伝わり、目の前がまっ暗になって転倒してしまったのです。しばらくは動けず、うつ伏せになったまま、『ああ、ひざがこわれてしまったみたい。でも、この試合だけはどうしても勝って日本に帰らなければ……』、そう思うと、周囲の不安をよそに、もう一度ラケットを持って試合を続行したのです。できるだけ前衛に入り、高めのショットにとびつこうとしたとたん、また同じ音が体中をつきぬけたのです。

病院で手当を受けたその夜、左ひざはみるみるはれてきて、ズキンズキン痛み、どんなは氷水で冷やしても、冷たいとさえ感じなかったほどでした。

帰国後すぐ、太ももつけ根から足首まで、丸太ん棒のようにギブスされ、そのまま竹内先生（子供水泳教室の先生）につき添われて金沢行の夜行列車に乗りこんだのです。頭に響く、ガタンゴトンという汽車の音に、いつまでも目がさえて眠れず、このまま暗闇の世界にひきずりこまれそうな重い気持と空しさでいっぱいでした。

金沢のホームに降りた時、迎えに来た母が私を見るなり、「なんてだらしのない体つきなんや、ブクブクに太って。スポーツ選手がみっともない」というのです。なぐさめや、心配の言葉より、まっ先に。脳みそがいっぺんにこわばりました。そう、私には、60キロは、ウェイトオーバーだったのです。骨自身は、スポーツ選手にしては細いといわれてきたから、体重の増えすぎは、それだけひざの負担になっていたのでしょう。当時、私のベストは57キロ。母の一声はみごとに的を射ていました。完全に私の脱帽です。

ギブスさえ取れれば、すぐにも動けると期待していた五週間後、電気ノコギリでギブスをカットし、まじまじと見たその左足の何とあわれなことか。たくましくて、頼りがいのあったあの太ももは、右足の半分。大げさじゃなく本当に半分しかなかったのです。それも陽にあたらず、コケでも生えてきそうに青白くブヨブヨの　だけになってしまって。左足をいたわるようにさすりさすり、しらずに涙がこぼれてしまいました。一瞬のでき事のために、これから動けるまでどのくらいの時

間がかかるのだろう。ケガする前に、何かできなかったのだろうか。悔んでも悔んでもくやしさがいつまでもつきないのです。

歩けない私はそのまま入院し、お医者さんの特別のはからいで、一日二回のマッサージと訓練であとはベッドで休むという日課が続くのです。危っかしく松葉づえをついて歩く姿が自分であるなんて、その時まで想像もつかないことでした。マッサージやブクブクお風呂、ひざを曲げていく訓練が、くり返し続けられ、90度に曲がるようになって、もう一息にまでこぎつけたのに、それ以上曲げようと足首を太ももの方へ力一杯押されようものなら、激痛が走り、頭をこすりつけ、体をくねらせてがまんするのに少しも曲ってくれないのです。入院して一カ月、いっこうに90度から進歩がなく、焦る気持がつのっていくばかりなのをどうしようもできないのです。

ぼんやりと何時間も病院の白い壁を見つめたり、無心に本を読んだり、窓の下の瓦屋根の街を見おろしたりの一日が何て長く感じられたことでしょう。私の頭の中でバドミントンが遠くなったり、近くなったりしています。私の青春のすべてと信じてきたバドミントンという言葉を、どんなにいとおしく、どんなに憎らしく思ったことでしょう。『もうバドミントンはできないかもしれない、もしかしたらびっこをひいたまま一生送るのかもしれない……いいえ、絶対に治ってみせる、もう一度バドミントンできるために、もっと明るい気持で治す意欲を持とう……』。

毎日が、毎秒が、絶望と希望の葛藤の連続だったのです。なげやりの気分の時は、おしのように黙ったまま空を見つめ、悪いことばかり浮かんできてよけいに焦るのです。また〝負けない〟と思う日は、小説や、他のスポーツの本を次々と読みあさったり、松葉づえをついて、外出禁止なのに近くの県体育館へバドミントンを見に行ったりもしたのです。それから二週間ほどして、ようやく90度以上曲った時は、一つの岐門からやっと抜け出れたような嬉しさでいっぱいでした。

ダメになりそうになる私をいつも支えてくれたのは、友人達でした。高校時代コーチをして下さった奥村さん、かって二水高校の13Hだった、イモちゃんやナガ達、病室の患者さん達、そして、長谷川先生が持ってきて下さったパーシー・セルッティ著の「陸上」の本、高橋とも子さんが東京から送って下さった「白きたおやかな峰」、正木のおばちゃんが病室の机の上に置いていってくれた、「氷点」。これらの本は今でも忘れられません。

ギブスをはずして二カ月近く、私は、二本の足、両足で大地に立てることのすばらしさに、今まで気づかなかったこの素朴な喜びに生まれて初めてしみじみとひたったのです。

しかし、走ることはもちろん、ふつうに歩くことさえまだ遠く、階段を左ひざを伸ばしたまま、カニのように横歩きで一段ずつ登る状態が続いたのです。

（つづく）



読書で寂しさをまぎらせたことも……



コートに立てなくてもラケットは枕もとに

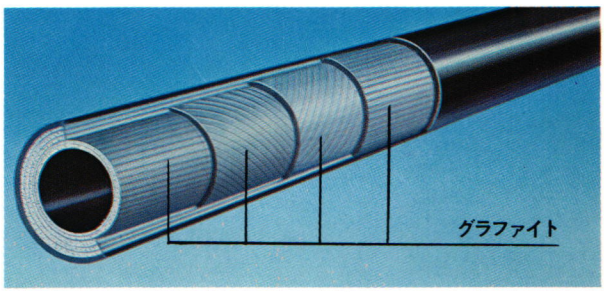


夕日をみつめて考えこんだ日も……

E RACKET

世界初の100%
グラファイトシャフト

画期的なものを生むためには冒険が必要です。B−82・B-80もこの例にもれません。グラファイトファイバー繊維は異方性にとむ性質で、配列しだいでは性能が大きく変わります。カワサキはこの難問を独特のクロス加工で解消。方向の異なるグラファイト繊維を4層に重ね合わせ、素材のもつ特性を最大限に引き出しました。これこそ世界が待ち望んでいた理想のラケット。スチールパイプにカーボンをまきつけただけというラケットとは威力が違います。この完成度の高さはカワサキならではのもの。



kawasaki
河崎ラケット工業株式会社

AFT

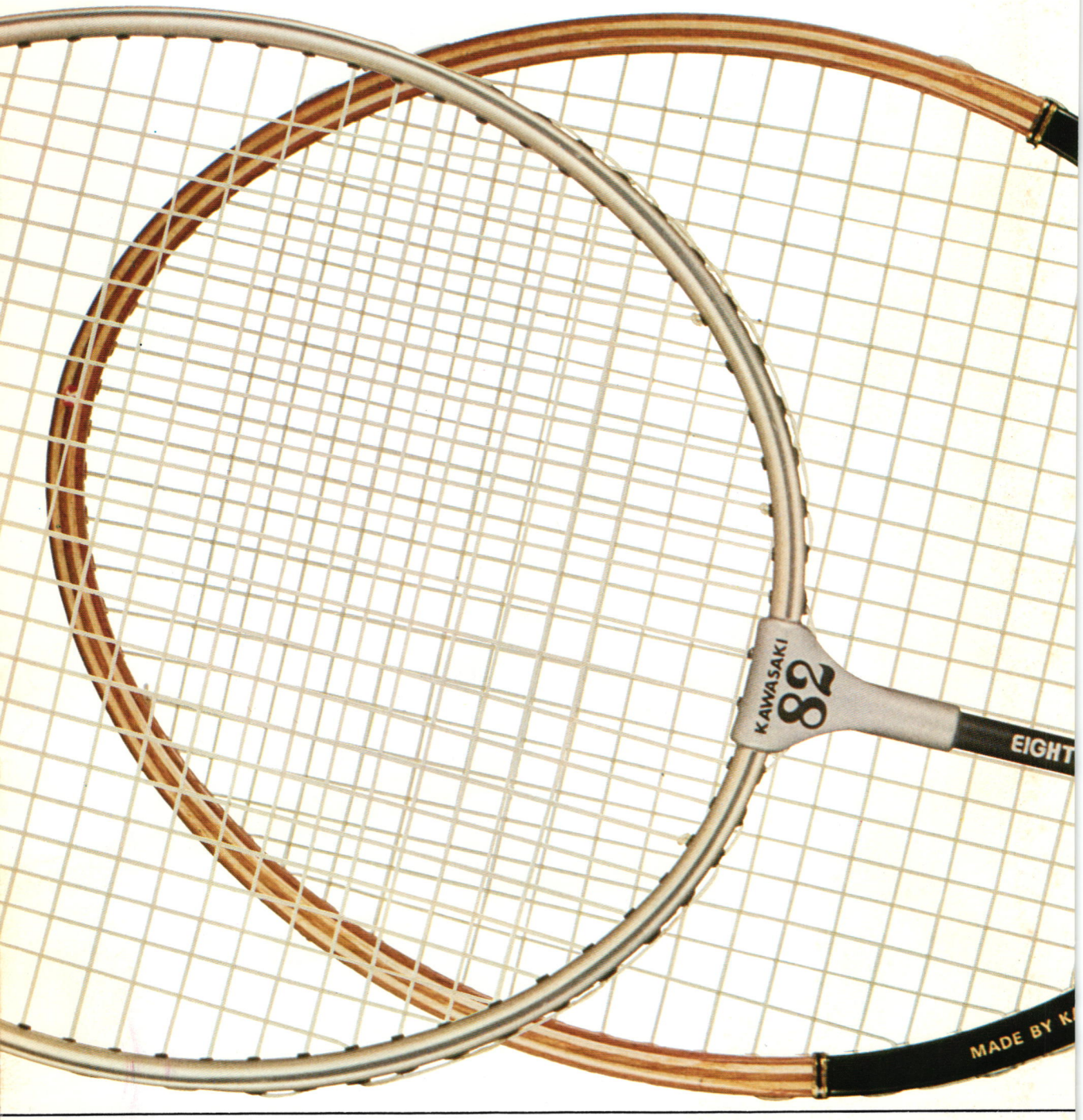
B-82

グラファイトシャフト アルミフレーム シルバー(ケース付)
フレーム価格8,000円 ガット張り上り価格8,700円

B-80

グラファイトシャフト ウッドフレーム 黒(ケース付)
フレーム価格7,700円 ガット張り上り価格8,400円

GRAPHIT



スイートスポットの広さがちがう

ALL GRAPHITE SH

息ピッタリ、アディダス・ペア。

ADIDAS RACKET & SHOES PAIR



世界の第一線で活躍するアディダスのバドミントンシューズ。そして素材の特性をくまなく引き出し、パワーとコントロールを両立させたバドミントンラケット3種。

この強力ペアは、絶妙のチームワークであなたを勝利へ導きます。正確なショット、正しいフットワークにアディダス。

adidas®

The science of sport.

adidas ●お求めはadidas特約店で

製造業者 〈KG〉兼松江商株式会社 発売元 〈KBO〉兼松スポーツ用品株式会社 〒532 大阪市淀川区木川東2-5-3 ☎06-305-1431 〒101 東京都千代田区内神田1-11-13(橋本ビル) ☎03-295-5611

BADMINTON

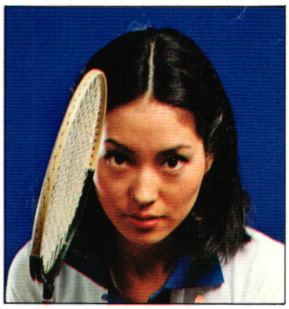
鋭いブラック。

バドミントン・ラケット

Carbon Slugfest

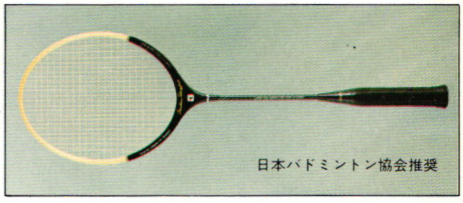
カーボン。スラッグフェスト





No.B85　カーボンスラッグフェスト《ブラック》
ロングテーパー・カーボンシャフト（ケース付）
￥7,500

より速く，より力強く――バドミントン・プレーにマッチした鋭いラケットの新登場！カーボン素材を使用したシャフトは強くそして柔軟――鋭い反撥力を生み出しました。さらに超軽量化をはかったブラック・シャフトは黒ひょうを思わせる精悍さ。強く・鋭く・軽い――まさにバドミントン・ラケットのエースです。



HY-SHEEP Super

No.1060 SP　ハイ・シープスーパー
（ゲージ0.75㎜）　￥500

超強力糸を使用した0.75㎜のゲージ。この極限のゲージが，球ばなれの早いシャープなプレーを生み出します。反撥力・耐久性に優れ，張り上げもスムーズ。文字通り会心のスーパー・ガットの誕生です！



おなじみのコーセン
キャラクター　今年も
コーセンとともにお目
にかかります　よろしく



GOSEN

本　　社●〒540 大阪市東区豊後町4　☎(06)942-5816(代)
東京支店●〒111 東京都台東区蔵前4-14-2　☎(03)862-6576(代)
福岡営業所●〒810 福岡市中央区薬院1-4-8　☎(092)712-5247(代)
北陸営業所●〒921 石川県金沢市横川7-22　☎(0762)47-0200(代)

ザ・ベスト・オブ・ベスト。それがカールトン&メトロ。

carlton CSS

ステンレスとカーボンファイバーを技術の力でみごとに一体化。それがカールトンCSSです。ハガネの強靱さとウッドの弾力性を備え，シャトルの伸びと抜群のコントロールを約束します。アンチ・パワー派に，そしてスィンガー派に。期待に応えて登場した世界の名品です。

¥15,000（ヘッドカバー付）

carbonic Σ

ラケットの極限を追求した（カーボニック・Σ）は，ウッドフレームとカーボンファイバーの一体化により，高度の反撥力と耐久性を生みだしました。さらに，カーボンフレームとカーボンシャフトの絶妙のコンビネーションは，ヒッテング・エリアを限界まで拡げ，抜群のコントロールが維持されます。

¥9,500（ヘッドカバー付）



❶CARLTON3.7×￥8,500 ❷CARLTON4.0￥6,500 ❸CARLTON4.5￥5,500
❹CARBONIC BLACK￥6,000（オール，ヘッドカバー付）



Liem Swie King

1978年度全英選手権

男子シングル優勝

総輸入元　メトロレジャー株式会社　東京都千代田区外神田5-6-4 TEL.(03)833－3661㈹

"STARTING BADMINTON"

これから始める人へ

スターティング・バドミントン

Starting Badminton
by Judy Hashman and C.M.Jones
Japanese language serial rights arranged
with Ward Lock Ltd., London
through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo.

ジュディ・ハッシュマン、C・M・ジョーンズ共著
後藤忠弘訳、栂野尾昌一・悦子協力

5 バックハンド・ストローク

繰り返しますが、バドミントン競技では、ショットの90%が肩より上の高さで処理されます。また、バドミントンは原則として、フォアハンドで戦うゲームでもあります。このため、フォアハンドのプレーを生かすには、十分に敏しょうな足、ムチのようにしなやかな上体と腕を持ち合わせる必要があります。

例外は、フォア前陣のコーナーに引き寄せられた後、その対角のバックハンド側後陣コーナーに、クリアーを打たれた場合です。しかし、このような際も、まずは、すばやくホーム・ポジションを経由して、シャトルの落下点に移動、できる限りは、ラウンド・ザ・ヘッド・ストロークを使って、切り返すことを考えなければなりません。

その場合は、相手からのクリアーを、おうむ返しにクリアーしかえしてもよいし、スマッシュでも、あるいは、もっとほかの、フェイント的なショットを使うのもよいでしょう。

フォアハンドで打ち返すことが不可能な時は、次善の策として、もっとシャトルを落とし、床面に近い打点から、バックハンドを使って、深くクリアーを打ち返すのがよいでしょう。この場合は、片足を深く踏み出し、両肩、頭、鼻を床面に向けて構えることが必要です。目は、落下してくるシャトルから離さないようにします。

フロアすれすれの高さから、高くクリアーを打ち上げるには、最初、ラケットを床面と平行ぎみに保って前方に振り出します。そして、スイングが肝心の〝ジップ・エリア〟（注、既出、第二回の「スイング」の項参照）に入ったところで、急激に上昇カーブをえがいてハネ上げるように、振り出します。

このような時、右足（前足）は、おおむね、バックハンド側サイド・ラインに向かって、深く踏み出されています。それで、その反動を利用すれば、再びホーム・ポジションへ、すばやく戻ることが出来ます。

また、この構えだと、両足の間を通る線は、およそ、シャトルを打ち返すべき方向と一致することになります。両肩は両足と同じ方向をさし、上半身を時計の針回りの方向にひねって、ストロークにパワーを付加するのに役立ちます。

フォワード・スイングでは、ヒジと手首がラケット・ヘッドを先導します。そして、ストロークがジップ・エリアに入ったところでヒジが伸ばされ、手首が戻されます。

グリップの親指は、フォアハンド側打面の延長上の、平らなハンドル部分につけて伸ばさねばなりません。こうすることによって、打ち返しの方向に向かって、打面を急激に振り出す時に、親指はテコの役目をし、スイングに新しい力を与えることになるのです。

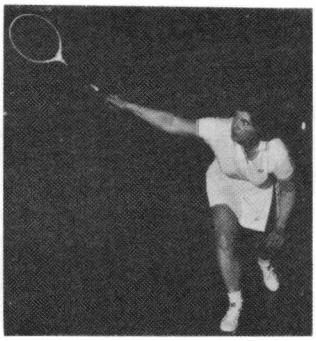
このような打ち方をしますと、ラケットにシャトルが接触する時間が、最大限に長くなるので、ストロークのコントロールと正確さを助けます。ラケットは、ちょうど飛び去るシャトルを、追いかけるように振られるのです。

そのほか、どうしてもバックハンド・ストロークを使わなければならないのは、バックハンド側の頭の高さでしか、シャトルをとらえることができない場合です。

通常、このような際に使うのは、クリアーですが、時には、相手からの打球が浅いので、それにつけ込んで、バックハンドからでも、強打を打ち込むことが可能な場合もあります。

けれども、バックハンドの高





第21図　(左)打球への備え。手首が十分にコックされ、ラケット・ヘッドは体に巻きつけられて、フル・スイングで振りほどかれるのを待っている。体重はやや後足に残している。
(中)インパクトの直前。シャトルが眼前に迫ってきた。腕とラケットは振りほどかれたが、手首はコックしたままで、ラケット・ヘッドを先導。打球の瞬間、スナップをきかすことができるように備えている。
(右)長く、高い、上向きのフォロースルー。体重はフルに前足にかかり、残した後足で、わずかにバランスを保っている。

い打点から打つ、深いクリアーもスマッシュも、ともに難しいもので、年少者や初級レベルの人には無理でしょう。入門して日の浅い人、ことに子供には、教えるものではありません。

力がないと、満足な打球効果は得られませんし、ヒットのタイミングにも、きわめてデリケートな点があるからです。

しかし、そうはいっても、すぐれたプレーヤーには、〝穴〟あってはなりません。一流をめざすなら、ぜひともバックハンド・ストロークを自分のものにしなければなりません。

一方、ラウンド・ザ・ヘッドからのスマッシュなども、どんどん活用するようにしたいものです。もし、相手の打球のねらい所がうまくて、ラウンド・ザ・ヘッドで強打を返さなければ、シャトルが腰のあたりの高さに下降してくるのを待ち、クリアーを打ち返します。

もちろん、欲をいえば、終局的には、あるショット打とうという時は、打点のいかんにかかわらず、フォアでもバックでも、どちらからでも打てる、有能なプレーヤーになりたいものですね。

フォアハンドからクリアーやスマッシュを打つ場合と同様、バックハンドの場合も、落下してくるシャトルのフライトの、延長線上に沿って、バックスイングを引かなければなりません。

バックスイングは、あくまでも、のびのびと、スムーズに行われることが大事です。もし、自分の動作がぎこちなく感じられる時は、特に次の諸点に注意しましょう。ヒジと手首を十分に曲げること、右肩、こまかくいえば肩甲骨が、落下してくるシャトルを指すように、上体を後方に回すことです。

目は右肩越しにシャトルをとらえます。いったん、とらえたら、打球点まで決してシャトルから離さないようにします。

では、正しいバックスイングはどうしたら得られるか、簡単な方法を紹介しましょう。

バックハンド・グリップでラケットを握り、腕をいっぱいに天井向けて伸ばします。上腕は右耳に触れそうになりますね。次に手首を左に曲げ、ラケット打面が水平(床面に平行)に向くように保ちます。

そのまま、腕を顔の前面にまで下ろしてきて、ヒジを深く曲げ、二の腕がアゴの前にくっつくようにします。そして、手首を思い切り左にコックします。(訳注、図22のbのような形になる)これでバックスイングの形ができました。

さて今度は打ち方です。頭、のやや前方上空に、ハエが一匹とまって?いるとします。その天井のハエを、バックスイングの状態から始動して、ぴしゃっとたたき殺す動作を想像してごらんなさい。はげしくスナップをきかせ、手首を返し、ヒジも真っすぐに伸ばさねばなりませんね。

ダウンスイング(訳注、ラケット打面が最高点まで上りきったあと、自然の勢いで下降すること)を意識せず、天井を打ち抜くぐらいのつもりで、打面をストレートに目標物にたたきつけましょう。

バックスイングからインパクト、そしてフォロースルーに至る動作は一連のものであり、いささかの渋滞や乱れもなく、流れるように行うことが大切です。

バックスイングはシャトルの下降線に一致する必要があり、フォロースルーは、飛び去るシャトルの飛行線を追いかけねばなりません。この時の、フォワード・スイングからフォロースルーがえがく線は、両肩と両かとを結ぶ線と生き写しになります。

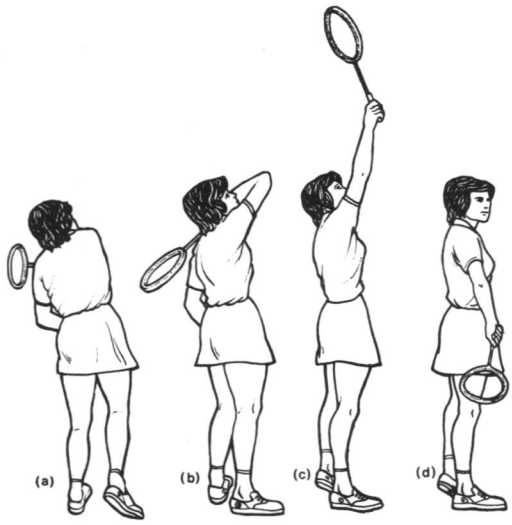
要するに、ラケット、両肩、上体、両足は、すべてラケットを振り出す方向に向かって、一致して作動しなければなりません。

ヒジと手首のスナップを活用することにより、バックスイングはすばらしいパワーを生み出します。しかし、時として、打面がシャトルにフラットに当らず、打ち出す方向が狂うことがあります。このような場合は、せっかくのパワーが無駄に使われ、もっと重要なことは、不必要なエラーを避けられません。

再度、要約しましょう。ハイ・バックハンドの打球は、正確なタイミングと力を要します。初心者、初級者、子供などは使うべきものではありません。しかし、そうはいっても、実際はたいていの人が使いたがるものです。

そのような場合は、代わりに、ラウンド・ザ・ヘッド(つまりフォアハンド)を使いましょう。それが不可能な場合は、シャトルの打点を落し、バックハンドで、力のこもった、上向きのストローク、つまり、クリアーを打ち返すようにしましょう。

第22図
オーバーヘッドのクリアーをバックハンドで打つことは、かなり高度な技術を必要とするので〝クラブでなんとか、おつき合いできる〟程度のプレーヤーには、おすすめできない。しかし、この種の忠告は、現実には、なかなか聞き入れてもらえないので、どうしても打ちたい人は、次の諸点を守るようにしてほしい。
(a)上半身をまわして、背中をシャトルの方に向ける。体重は後足（左足）に。
(b)ヒジの先で、下降してくるシャトルと、その飛行線をマークする。
(c)右肩のすぐ上あたりでシャトルをとらえて打つ。この時、体重は前足（右足）に移しかえられる。
(d)飛び出したシャトルの飛行線を追うように、力強くフォロースルーする。ラケットはこれ以上は上がらない点まで振り上げられると、あとは自然の勢いで下降（ダウンスイング）する。



練習の要点

バックハンドに潜在するパワーがあることを実地に経験し、このパワーを必要とするタイミングを理解するために、次のようなことを試みてみましょう。

1、ネットに近接し、右肩、右手、ラケットがネットと平行になるように立ちます。ラケットはバックハンド・グリップで握ります。

ラケットの握り手の手首をできるだけ内側に曲げ（コックする）、一方、空いた左手でラケットヘッドを押えて、体の方に引っぱるようにします。

そうすると、ハンドルに添って、伸ばしてつけたグリップの親指は前方（ネット側、相手コート方向）へラケットを押し出そうとし、体の方に引っぱろうとする左手と〝力くらべ〟になります。

この状態を経験したあとで、不意に左手を離しますと、ラケットは乾いた音を立てて、ぴしりとネット・テープに当たります。これこそが、ジップ・エリアで活用されるべき〝パワー〟なのです。このパワーは、ひとり手首の動きそのものによって生み出されているのです。

では、この手首の動きによって、シャトルはどのくらい飛ぶでしょうか。ちょっと実験してみましょう。

さきほどの位置に立ち、10個から12個ぐらいのシャトルを、打面に向かって投げてもらいます。打面が全くネットに平行だと、当たったシャトルがネットにぶつかるおそれがあるので、少し自分の方に傾けて、角度を作ります。

さきほどと同じように、左手でラケット・ヘッドを抑え、シャトルめがけて、パッと離します。しかし、絶対に腕を動かして、フォロースルーに力を貸したりしてはいけません。それでは実験の意味がなくなります。

あくまでも、曲げた手首を元に戻す、そこで動作が止まる、ということでなければなりません、さあ、結果はどうだったでしょうか。コートの縦の長さ（約6メートル半）の四分の三ぐらいまでも飛んでいくのですよ。

2、次に、今度はネットから離れ、コートの真ん中ぐらいまで下がって、立ちます。前と同じように、空いた左手でラケット・ヘッドを抑え、いわゆるバックスイングをとったり、打球のさいに、腕を前に振ったりするのを防ぎます。

シャトルはヒザか、もっと下めがけて投げてもらいます。今回は、コートの深いところに立っているので、向うまで飛ばすのに、さっきよりパワーが必要です。そのために、フォロースルーをやってもよいことにします。

シャトルをはじき返す手首の動作に続いて、ラケットはもちろんのこと、腕も肩も上にはね上げるように、高々とフォロースルーをします。多分、体ごと、上につり上げられるような感じがすることでしょう。

あら、ふしぎ!?今度もやっぱり、シャトルは相手コートの後陣近くまで飛ぶのです。

3、今度はもっと下がって、単複サービス・コートのバックラインが作る、最後陣のミゾのあたりに立ちます。ここから相手後陣までは12メートルほどもあります。持てるパワーのすべてを出し切らないことには、シャトルはそこまで届きません。体重の乗せ方、足のひねり、正しいバックスイング、肩と腰の使い方、みな、気をつけねばなりません。

ラケットを握った腕を、胴体

に巻きつけ、ラケット・ヘッドが背中のうしろにくるようにします。体重は後足（左足）にかけます。

シャトルは、今度はラケットで、胸から下の、任意の高さに打ってもらいます。シャトルが来たら、思い切って大きくバックスイング[注1]します。ジップ・エリアのこと、フォロースルーのことを忘れないように。タイミングが、ジップ・エリアでの動作を効果的にするかどうかのカギだ、ということがわかるでしょう。

練習相手または指導者への注意事項

バックハンドが弱い、フォアハンドにくらべて、全く力に欠けている、という時は、十中八九、グリップが肩（肩甲骨）の位置に問題があります。バドミントンに見られる、ショットの誤まちの中で、この種の誤まちは、一見すぐわかりますし、したがって、直しやすいものともいえます。

もし、あなたがシャトルの投げ役をやっているのでなければ、投げ役のうしろ、コートの後方に立って、右肩甲骨と、握り手の甲の位置（正しいバックハンド・グリップになっているか）を確かめてやって下さい。

あなたが、自分で相手にシャトルを出してやる仕事をしている場合は、相手を十分に見る機会があるのですから、別にこれ以上、注意をつけ加えることはありません。

もう一つの矯正法は、利き腕のヒジを（フォワード・スイングで）高く上げるようにさせることです。こうすると、ヒジの先がストロークのさいの〝照準器〟の役目を果し、打ち返しの準備が完了するまで、シャトルから目を離さずにすみます。

〈本章の注〉

（注1）本章では、バックスイングの問題だけが繰り返し強調され、フォワード・スイングについての記述がほとんど見当らない。しかし、原文をよく読むと、バックスイングという文字を、フォワード・スイングに置き換えた方が、むしろ正しいのではないか、と思われる個所もある。この（注1）をつけた部分『シャトルが来たら、思い切って大きくバックスイングします』（**make a big, wide, heavy backswing when the shuttle is fed to you**…）などは、明らかにそうである。その数行前に、すでに『ラケットを握った腕を胴体に巻きつけ、ラケット・ヘッドが背中のうしろに来るようにします』と、バックスイングについては述べてあり、その形からさらに注訳の部分『思い切って大きくバックスイング』するのは困難であるばかりか、記述の重複でもある。

◆訳者からひとこと◆

読者のみなさん、こんにちは。8月号から、ジュディ・ハッシュマン女史の『スターティング・バドミントン』を連載し、ちょうど半分まできました。

女史については、本書の最初に紹介がついていますし、訳者がいまさら、改めて述べるまでもなく、皆さんもよく、ご存知でしょう。かつて、全英選手権に女子として最多の優勝回数を誇った名選手で、高木（中山）、湯木ら日本勢の台頭に先立つ時代に、偉大な足跡を残しました。父も有名な選手で、もともと米国人ですが、のち英国に移住して、市民権を取り、最近は英国のナショナル・コーチもつとめました。

本書は、この不世出の巨星がテニスの名手でもあるC・M・ジョーンズ氏の協力を得てまとめたもので、七七年に出版されたばかりの新刊です。皆さんも日本の指導者によって書かれた入門書・指導書は、いろいろとお読みになったことがあるでしょうが、外人（バドミントンの先進国の）の手になるものを目にする機会は多くないと思います。

しかし、本書に接すれば、外人が日本人とは違った角度からバドミントンを眺め、アプローチしていることがよくわかり、同時に、外人はどんな手順で初心者に〝手ほどき〟をするのか、という点も、ある程度、わかってもらえると思います。そして、それは必ず、皆さんのバドミントンの理解と技術の〝幅と奥行き〟を増すのに、役立つものだと思います。

名選手は概して、個性が強いものです。本書にも、ハッシュマン女史の、きわめて個性的な考え方が、多々、出てくることと思います。そこで、皆さんの理解を助ける意味で、全英・全日本で活躍中の梅野尾夫妻に協力を求め、折りにふれて要点をコメントしてもらうことにしました。

なお、各節末の（注）は、すべて訳者の判断と責任においてつけたもので、原著者には関係ありません。

それでは皆さん、ごゆっくりどうぞ——。

◆ご協力を!!

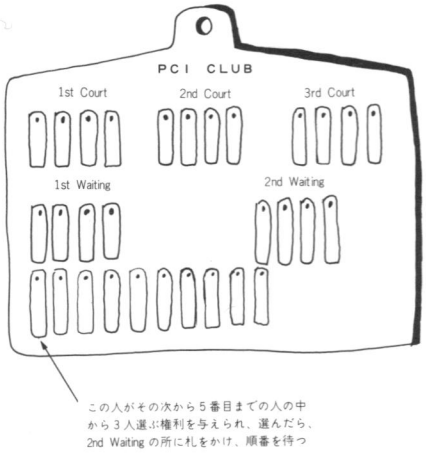
毎月バドミントン界を楽しく読ませていただいています。さて第28回インターハイ特集号（52年9月号）は品切れとのことですが、どうしてもほしいので、あきらめきれずお便りします。あつかましいお願いだとは思いますが、このハガキを誌上にのせていただけませんか？

そして52年9月号をお持ちの方にゆずっていただきたいのです。もちろん代金はお支払いしますので左記あてご連絡をお願いします。

〒520 大津市中庄2—11—27
倉見安世、〒520 大津市鶴ノ里26—1 辻由美子

ラケットを持てる〝感激〟を知る

バドミントン・クラブ なぐりこみの記



H.YamamoTo

▼まずはクラブ捜しから

76年11月に来英してから1年ほど経って、そろそろラケットを握りたくなってきた。日本と違って大した通勤地獄もなく、毎日事務所に坐りづめでいたせいか、チト、ズボンがきつくなったのに気がついたのもこの頃である。76年に藤沢で行なわれた実業団大会が最後の試合で、それ以後赴任準備、渡英、そして、新しい環境になれるのに精一杯で、全くラケットを握る余裕などなかったのだから、1年のブランクはまことに大きい。

本場のイギリスのこと、一流選手の所属しているクラブはすぐ見つかるであろうが、そんな所へ行ったら、1日で足がガクガクするのは目に見えているし、また頭髪の薄くなったのも十分認識し、〝それなりの〟クラブを捜すことにした。ところがこれまた大変。

英国協会に問い合せるほど大げさなことでもなく、第一伝統を誇る英国のバドミントンクラブが、日本人の加入を認めてくれるだろうかという疑問もあった。初めての土地で、初めてのことをするには、やはり不安がつきまとうものである。英国のクラブは、もちろんピンからキリまであり、なかなか自分にあったクラブを見つけるのも大変である。

▼ひょんなことからクラブを発見

そうこうしている1月のある日、車で帰宅

途中、道路の混雑をさけて近道しようとふと曲ったところが、通り抜けの出来ない袋小路へ入りこんでしまった。これはいかんとバックをしようとして、そこが公共のスポーツクラブの入口であるのを発見。勇気を出してその中に車を乗り入れた。

広大な緑の芝生に囲まれて、数面のテニスコート、そしていくつかの建物が点在しているが、いわゆる体育館のようなものが見当らない。そのうちに管理事務所を見つけ、問い合せたところ、いくつかのクラブがコートを定期的に予約しているので、そのクラブの責任者にあって話をしてほしいとのこと（ここでは簡単にこう書いているが、60歳をすぎたと思われる老管理人のしゃべる英語？を理解するには、かなりの時間がかかった。）

当日がたまたまPCIと呼ばれる勤労者のクラブの練習日だったため、練習場へ「たのもー」とばかり、直接押しかけ、直談判となった次第である。

▼「委員会にかけるから……」

小学校の講堂のような建物の中に、3面のコートがとられ、そこで20～30人の老若男女がプレーをしていたが、私がドアを開けると、一瞬全員が「何者か？」という表情で視線をこちらに向け、思わず「やめようかな」と思ったほどである。しかし彼らはすぐに視線を元に戻し、プレーを続け、一人のおじさんがにこやかに「Can I help you？」と近づいてきた。こちらの意を告げると、「即断はできない」「コミッティー（委員会）にかけるから、来週もう一度来てほしい」との事。

このクラブは週一度金曜日がクラブナイト（練習日をこう呼ぶ）で、公式試合には参加しないこと。ハンディキャップ制でゲームをし、いわゆる強いプレーヤーは加入できないこと（強くなるためにプレーをするのではなく、あくまでも、バドミントンを広く一般に楽しんでもらうのを目的としているため）。会費は3カ月3ポンド（約千百円）で、それですべての運営がなされること。シャトルはプラスチック製を使用することなどを知らされ、しばらくプレーを見たあと、1週間後さ再会を約し、帰宅の途についた。

内容から容易に想像できるように、決してレベルの高いクラブではないが、自宅から3分の距離にあり、ビールをおいしく飲むには格好のクラブであるが、逆に下手するとを（つまりフルパワーでプレーをすると）加入即徐名ということにもなりかねず、不安と期待をもって翌週を待った。

▼万歳!! バドミントンができる

さて翌週不安と期待の入り混った複雑な気持でそのクラブを再訪問。さすがにラケットバッグは車の中に残し、何も持たずに体育館に入った。例のニコニコおじさんがまた近づいてきて、コミッティにはかり、加入を認めることにしたと告げてくれた。そのときのうれしかったことよ！

今まで試合に勝って感じたあのうれしさとはまた違う、言ってみればバドミントンができるということに対する原点に戻った本来の素朴なうれしさだったように記憶している。もちろん喜び勇んで車にとってかえし、1年ぶりでユニフォームに着替え、体育館に戻った。蛇足ながら、シャツやその他のものからキャリアがわかることのないようそれらの選択にも注意を払った。

▼整然と公平にプレーを楽しむ

以来、毎週金曜日になると、もう落ち着かなく、仕事が終ると一目散にコートにはせ参じた。練習は主にダブルスのゲーム練習が主体で、ハンディキャップ制の15点1ゲーム。体育館の壁に図のような板がかけられており、各自来た順番に自分の名札をそこにかけ、コミッティーのメンバーが順番にその札をコートの所にかけ、呼ばれたらコートに入る仕組み。

一回プレーが終ると、それらの札は、順番の一番後にかけられ、次の番を待つ。ひと休みしたかったり、もうプレーをしたくない時は、自分の札を外しておけばよい。この方法だと全く公平にコートへ入る機会が与えられるし、次に誰と組むか、誰と対戦するかという点でも興味深い。グルグル回りだから同じ人とばかり当ると思いがちだが、入る人は3面で12名、「待ち」が偶数人か、奇数人か、途

中で来る人、帰る人、さらに「待ち」の先頭の人は、その次から5番目の人の中から自分の好きな3人を選ぶ権利が与えられる等で、常に変った相手と対戦することになる。

▼親善試合にも楽しく参加

ハンディキャップ制とは、われわれの知っているハンディキャップ制とちょっと変っている。XチームのAさん、Bさんのハンディキャップ（例えば20と23）をたし、YチームのCさん、Dさんのも加える（15と18）。Xチームの合計は43。Yチームの合計は33。その差10を2で割る。答えは5。したがってXチームの5―0からゲームがスタートする。この計算の結果が8―0以上の時は、パートナーを交換して7―0以下になるようにする。どう組み合せてもうまくいかぬ時は、やむを得ずハンディキャップの一番少ない人がぬけて次の人が入る。この例はほとんどない。

私のハンディキャップは0であった。ほとんどの人が20点台、数人がひとけたのハンディキャップであるから、私の場合には、常にハンディキャップの一番多い人と組まされた。そうしないと8―0以上のスコアーになってしまい、ゲームが始められないからである。それでもかなりの日数7―0から始められるケースがあった。私のパートナーは4人の中で一番ハンディキャップの多い人、つまり下手な人であり、50～60のおじいさんか、ほとんど初心者に近い若者。そしてスコアは7―0で相手方のサーブ。ゲームは1ゲームの15点制ときたら、かなりがんばらないと、勝ち目がない。ところがあまりがんばりすぎると、強いプレーヤーとみなされ、徐名対象になる。そんなわけで最初のうちは、スマッシュ、ドロップは全く使わず、何とかコースで勝負をしていたが、だんだん地が出てきて、強い球を返すようになってしまった。しかしコミッティーは、徐名の決定は出さず、先シーズンは二度他のクラブとの親善試合にメンバーとして選ばれ、楽しい時をすごした。

クラブのメンバーは、ティーンエイジャーから60歳くらいの老人まで、男女を問わず種種雑多であり、中には、一家できて楽しい時をすごしている人もおり、実に見ていてほほえましい。練習時間は5時半から10時半までであるが、ほとんどの人は、7時半から9時半くらいの間にプレーをする。この時間帯が最も混雑し、ローテーションも悪くなる時間帯である。

逆に六時頃行くと2、3人しかいないため、連続してプレーができ、また10時をすぎると、同様な状態になることもある。これをねらって9時すぎに来て、十分楽しんでいく人もいる。

▼再び新しいシーズンがやってきた

コートの整備、後片づけ等はいっさい体育館の管理者側が行なうので、それこそ目一杯練習でき、やりたいだけやり、自由気ままに楽しめるリラックスした雰囲気がただよっている。6月末でシーズンを終了し、9月半ばまでは、夏休み（シーズンオフ）。日射時間の少ないイギリスでは、太陽の出る夏が来ると、何もかもほっぽり出して太陽を求めてバカンスに飛び出す。9月からはまた、皆顔をそろえて、楽しくプレーをするわけである。

シーズンオフも終了し、また9月から新しいシーズンに入った。シーズンが始まってから2週間は、仕事の都合その他でクラブにいくことができなかったところ、例のニコニコおじさんから電話がかかってきて、「もうシーズンが始まっている。今シーズンもぜひ会員としてプレーしてほしい」というありがたい電話。

4カ月ぶりにコートを訪れた時は、初めて道場破りよろしく訪れた時迎えられた視線とは、全く違った親しみあふれる笑顔と、「ハロー、ヤマ（私はこう呼ばれている）」の声がはねかえってきた。

寒く暗く、長い冬の始まりとともに、バドミントンのシーズンが戻ってきた。

FROM EUROPE
ヨーロッパ情報

ちょっと期待はずれだった

イギリス版オールスター・チャンピオンズ

在ロンドン
山本洋彦

10月の気温としては異常な24度、南岸では泳ぐ人まであらわれた、そんなむし暑い10月11日全英選手権で有名なウェンブレー・アリーナで〝The Provident Mutual EVENING OF CHAMPIONS〟が行われた。

しかし、その豪華な顔ぶれにもかかわらず、ほとんどの試合がワンサイド・ゲームに終わり、白熱した〝チャンピオンの夕べ〟を期待した多くのファンを裏切ったようである。

試合は全英選手権および英連邦大会その他の試合を参考に、各種の目チャンピオンおよびそれに次ぐ者が出場する、いわばオールスターチャンピオンズといったところ。

女子シングルスはデンマークのリーン・コーペン対マレーシアのシルビア・ウン。

女子ダブルスにはわが日本のヤングパワー植野恵美子、米倉よし子組対地元!?イギリスのノラ・ペリー、アン・スタット組。

男子ダブルスはスウェーデンのベント・フローマン、トーマス・キールストロム組対マイク・トレジェット、レイ・スティーブンス組。

そして混合ダブルスは、デンマークのステーン・スコブガード、リーン・コーペン組対イギリスのマイク・トレジェット、ノラ・ペリー組がその組合せ。

それをみれば、誰しもが多くを望むのは当然であろう。

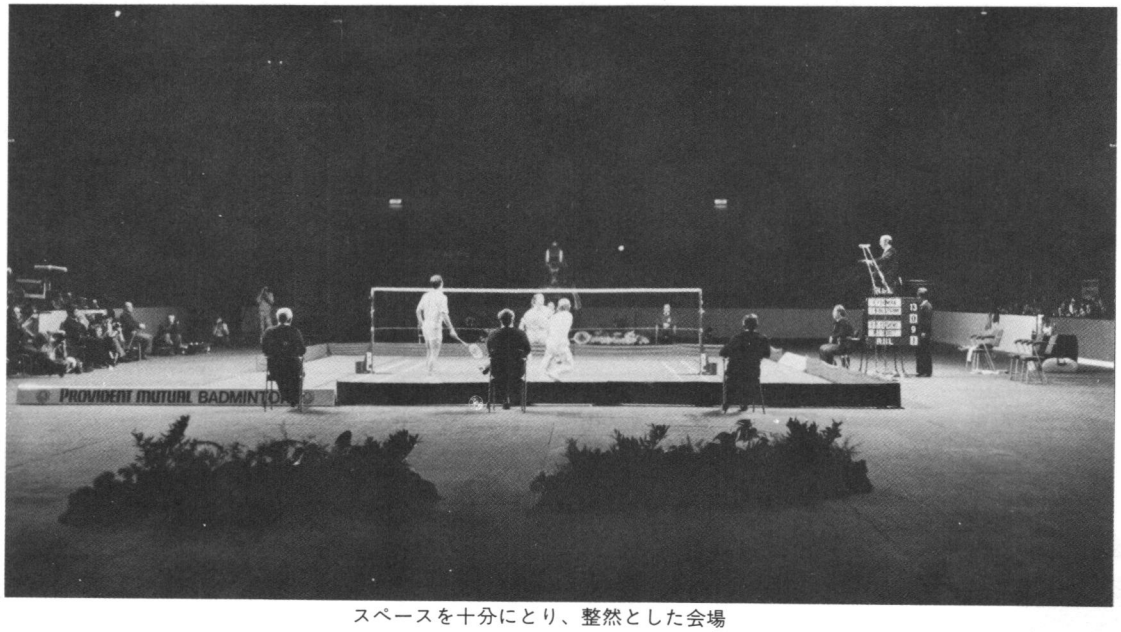
結果はスコアをみればわかるとおり、男女ダブルスがファイナル・ゲームになったのみで一方的結果。

特筆すべきは、インドのプラカシュが長旅（試合前夜来英）の疲れもみせず、デルフスにほとんどつけいるスキを与えず一方的に押し切ったことであろう。

わが日本ペアも1ゲーム目をモノにしたが、ノラ・ペリーの早いタッチと地元の利を生かされた形で、2、3ゲーム目とも終始受け身に立たされ、また第3ゲームで、植野が4回もサービスレシーブ時にフット・フォルトをとられ、ヤングパワー特有のリズムをつかむことができなかった。

イギリスの審判は、サービス時のサーバー、レシーバーのフォルトに非常にきびしく、苦汁をなめさせられた日本プレーヤーはかなりいると思われ、ナショナルチームの今後の課題の一つとなろう。

女子ダブルスのところで〝!?〟としたのは、イギリスのアン・スタットがデンマークのステーン・スコブガードと3週間前に結婚し、スコブガード夫人とし



スペースを十分にとり、整然とした会場

て初登場したからである。

しかし、依然イギリスのナショナルチームのメンバーとしてプレーするようであるが、遅かれ早かれデンマークチームに加わり、スコブガード夫妻として混合ダブルスにも登場するのではないかと思われる。

この試合のもようは、翌日のBBC2でイギリスのデリク・タルボットおよびギリアン・ギルクスの解説で放映されたが、そのギリアン・ギルクスは、今年もイギリス・ナショナルチームのメンバーとしては出場しないもようで、おまけにひざの治療に専念しているマーガレット・ロックウッドも3度目の手術を必要とするとかで、今シーズンもこの二大スターがイギリスチームの一員としてプレーするチャンスはほとんどなく、残念の一語につきる。



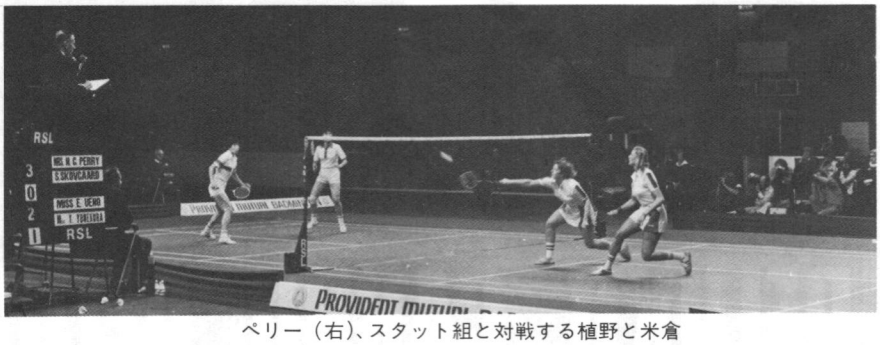
記念品を手にニッコリ。米倉と植野

◇試合結果

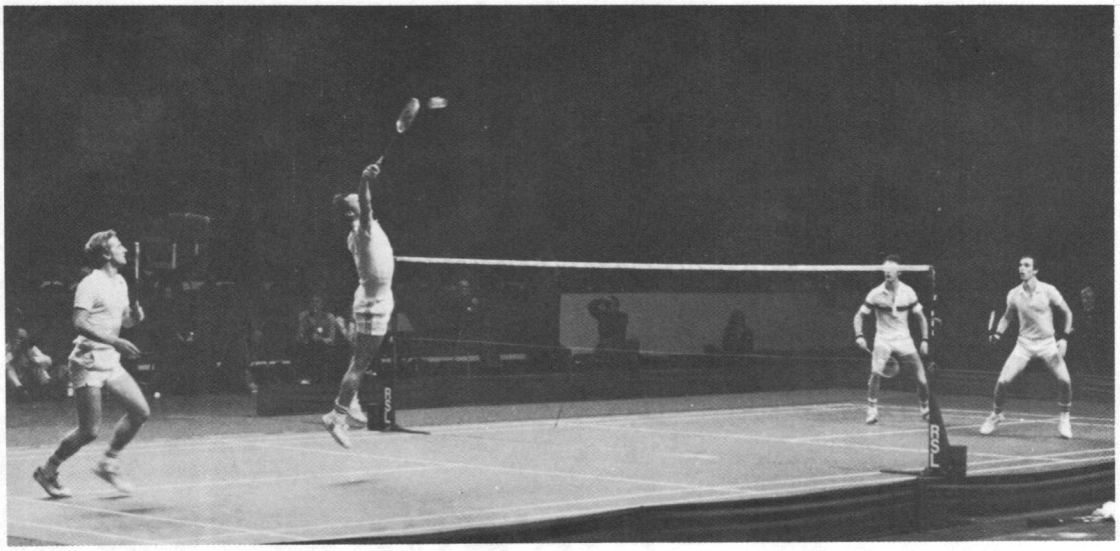
コーペン	2	11—2	11—8	0 ウン
プラカシュ	0	15—8	15—7	2 デルフス
フローマン・キールストローム	2	4—15	18—14	15—10 1 トレジェット・スティーブンス

ペリー スタット	2	11—15	15—9	15—6 1 植野 米倉
トレジェット・ペリー	2	15—8	15—4	0 スコブガード・コーペン

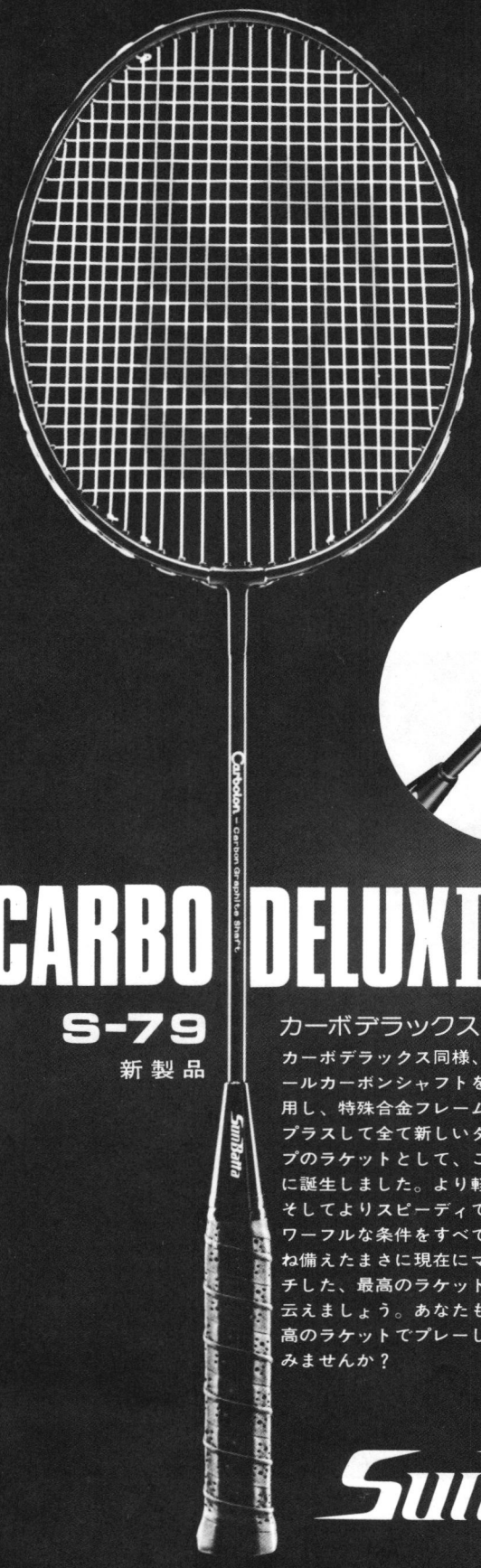
（写真撮影も筆者）

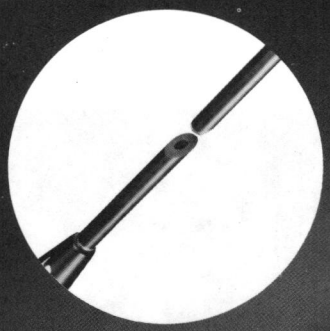


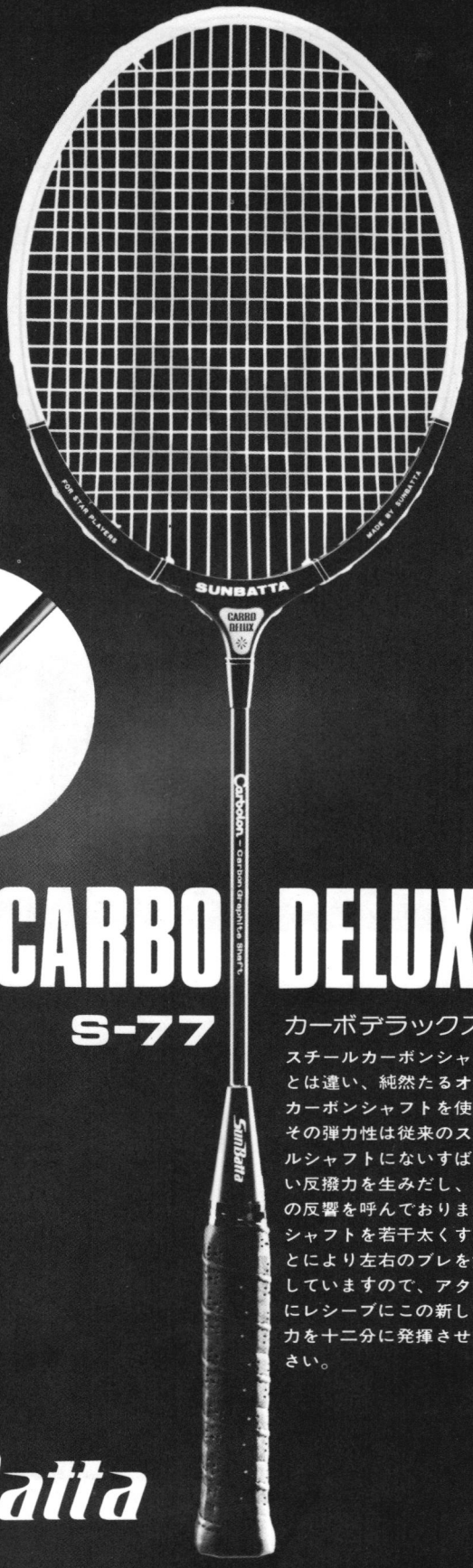
ペリー（右）、スタット組と対戦する植野と米倉



男子ダブルスで対戦中の左からトレジェット、スティーブンス、フローマン、キールストローム







CARBO DELUXII

S-79

新製品

カーボデラックスII

カーボデラックス同様、オールカーボンシャフトを使用し、特殊合金フレームをプラスして全て新しいタイプのラケットとして、ここに誕生しました。より軽くそしてよりスピーディでパワーフルな条件をすべて兼ね備えたまさに現在にマッチした、最高のラケットと云えましょう。あなたも最高のラケットでプレーしてみませんか？

CARBO DELUX

S-77

カーボデラックス

スチールカーボンシャフトとは違い、純然たるオールカーボンシャフトを使用。その弾力性は従来のスチールシャフトにないすばらしい反撥力を生みだし、多くの反響を呼んでおります。シャフトを若干太くすることにより左右のブレを解決していますので、アタックにレシーブにこの新しい魅力を十二分に発揮させて下さい。

SunBatta

演劇随想⑨

「人形の家」

放送作家　寺田太郎

北欧ノールウェイのある地方都市。戸外は雪と氷に閉ざされているが、ここ弁護士ヘルメル家の居間はほのぼのと暖かである。

主婦ノーラが外出先から帰って来る。使いの者がクリスマス・ツリーを運び込む。ノーラは過分のチップを手渡す。

いよいよクリスマスが来るというのでノーラは明るく楽しそうだ。幼いながら三児の母とはとうてい思われぬ若々しさと陽気さである。その無邪気さを夫は日ごろ「私のひばりさん」「小りすさん」などと呼んでいるほどだ。明るく仕合わせな家庭。来年になるとヘルメルは銀行頭取に就任することが決定している。……という、クリスマスの午後から「人形の家」三幕は始まる。

「人形の家」は近代劇の代表的な作品であり、作者イプセンはこれにより「近代劇の父」と称されるに至った。

ヘンリック・イプセン（一八二八～一九〇六）は、ノールウェイの地方都市シーエンの富裕な家に生まれた。しかし幼いうちにその家は没落してしまい、少年は孤独癖に陥り、家人ともほとんど口をきかず、屋根裏部屋に閉じこもって画や建築のまねごとや人形芝居にふける。

十五歳で家を出て、六年間薬剤師の徒弟生活。それから医大入学を志して首都クリスチャニア（現在のオスロ）に出たが、水しか飲めない日があるような窮迫生活のため断念。しかし、若い芸術家たちとの交遊に没頭して、得るところは多かった。

二十三歳のとき、地方都市ベルゲルに創設された国民劇場に座付作者兼舞台監督として招かれた。のち他の劇場に移ることもあったが、十三年間にわたって劇作・演出・舞台装置・衣裳デザインなどに没頭する。

それは貴重な体験ではあったのだが、一八六四年春、妻子を連れて逃れるようにして国外に去った。

ローマ、ドレスデン、ミュンヘン等に主として滞在し、六十三歳まで海外生活を送り劇作に携った。そして多くの名作を書いた。

「人形の家」は一八八一年、彼が五十三歳の春に完成し、年末にコペンハーゲン（デンマーク）で初演されたが、激しい非難にさらされた。その内容によってであるが、彼は、個人の自由は虚偽の道徳的価値を破壊することによって得られる……と主張したのだ。

その後イプセンは、ほぼ二年をかけて一作を発表するようになる。第一稿では作中の人物は同じ汽車に乗り合わせた程度の間柄だが第二稿では、同じホテルで、一カ月も一緒に生活したぐらいの親しさになり、第三の完成稿ではまったく家族同志となり、その風貌や衣服までがイメージに完成されたという。

ところでノーラは、十二月二十六日の夜おそく、子供たちを残して家を出て行くのである。そして「私はまず人間でなければなりません」と夫に言う「私は人形の家を出て行きます」。

何も求めてノーラは家を出たのか！　下の方から、門の扉がガチャンとしまって、錠がかかる音がきこえ……幕が下りる。

一八九三年（六十三歳）故国に旅して盛大な歓迎を受け、滞在を長びかせているうち、ついに定住することになった。劇作は続けられる。

ノールウェイ国立劇場前の広場に親友ビョルンソンと共に彼の銅像が建てられた。彼は毎日きまった時間に礼装とシルク・ハットで家を出、きまった道をとり、きまったホテルの喫茶室のきまった席に座り、コーヒーをのんだ。彼の姿を見て、人びとは時計の針を合せるほどだったという。

一九〇五年五日死。国葬をもって葬られた。

今年はその生誕百五十年にあたる。

WORLDWIDE TOPICS

海外トピックス

友枝康子

レイ・スティブンスに ふさわしい栄誉

国際フェア・プレー委員会は、その表彰状をレイ・スティーブンスに贈った。その授賞理由はこうである。「彼はマルメの世界選手権大会で、相手の失格を防ごうと仲裁に入った。相手は全英チャンピオンのフレミング・デルフス（デンマーク）で、うっかりして、規則で認められた5分間の休憩を3分超過してしまったのである。試合は再開され、スティーブンスはその試合で敗退した」

読者は、彼が得られたかも知れない世界チャンピオンの栄誉をフイにした、この堂々たる行為を思い出すだろう。また、最近のヨーロッパ選手権大会でもよく似た出来事のあったことも思いだされるだろう。個人男子ダブルスで、マイク・トレジェットと組んだレイが、スウェーデンのカールソン・ノルディン組と対戦した時、スウェーデン組は、第2、第3ゲームの間の5分間の休憩の後で、数秒遅れたことを理由に、アンパイヤから失格を宣せられた。この失格は、結局、レフェリーによって取り消されたが、レイとマイクは、この事件に乗じようという行動は全くとらなかった。

表彰状は、また、デンマークのオートバイ・レーサーのオーレ・オルセンに贈られた。世界選手権大会の決勝の時、トラック上で故障したライバルとの衝突を避けようと、わざと転倒した。やり直しの決勝では、容易に手に入ったかも知れなかった世界タイトルを失ったのだった。

授賞式は、10月30日、パリのユネスコで。

おめでとう、レイ！君とバドミントン・スポーツマンシップの、もう一つの優勝のために！

ノラとマイクに最高の栄誉

国際スポーツ記者クラブは、9月11日、同本部で開かれる午饗会で、同クラブ賞がマイク・トレジェットとノラ・ペリーに贈られると発表。二人は「長年にわたり抜群のコンビ振りを発揮し、現在、世界のナンバー・ワン混合ダブルスのペアである」というのが授賞理由。

テレビ、ラジオ、新聞の各界代表が出席の予定。ヨーロッパ選手権優勝の模様が、BBCのビデオ・テープで紹介される。

ジェット機の気分

カレン・ブリッジ、カレン・パティック、スー・ウィットテイカー、キャシー・ホワイティング、フィル・スミス、フィル・キッジャー、ジョン・アンウイン、ティム・ストーカーは、9月1日、数分間気をもまされた後、ロンドンのヒースロー空港を飛び立った——。ラウド・スピーカーの助けをかりて、チームの誰かさんを探し出す一幕があった！

のっけからのこの騒ぎの後でロンドン空港をたったわれわれは、午後7時半頃、フランクフルト着、数人のドイツ選手の出迎えを受けた。それから「速やかに」フランクフルトから20キロ離れたケルクハイムのホテルに車で案内される。われわれチームのある「おチビさん」をして、実際の飛行機よりすごい、「ジェット機のスピード感」だわと言わせる！

土曜日、午前中はマインツの街の見物、その後ライン河沿いのルーデンシャイムへ。ここはすばらしいドイツ・ワインで名高い。一行の中には、味見の誘惑に抗しがたい者もいた。

ヘッセン・チームとの試合はかなり一方的な運びでイギリス勢が5対2で勝った。これは、多分に相手にはるかにまさる女子勢のおかげによるものだった。一方、男子はドイツ勢がシングルスで2勝をあげ、ダブルス2試合では接戦だった。試合終了の後、フィル・スミスがイギリス選手とイングランド・バドミントン協会を代表して、ウェッジウッドの皿をヘッセン・バドミントン・クラブに贈り、イギリス選手は全員、記念のシャンパンを贈られた。

日曜日は、トルステン・ヴィンテルとヴェルナー・デイツの強力な挑戦にもかかわらず、イギリス勢同志の決勝となった。

日曜の夕方には、ヘッセン・

バドミントン・クラブの創立25周年記念パーティがあった。この週末は、主催者のご努力で、忘れがたい、楽しい訪問の時を過ごすことができた。

（ティム・ストークス）

スポーツ奨学金

リヴァプール大学では、バース大学の提唱に従って、スポーツ奨学金を出している。目的は、学生の在学期間を一年延長し、その間に、その奨学金によってまかなわれる授業料と生活費で最高水準の競技をめざして訓練しようというもの。

適用されるのは、国際水準に達している者、あるいは、もし奨学金を支給されれば、その水準に達する見込みがあるという証明（例えば、ナショナル・コーチの）を提出できる者に限られる。

この奨学金は、リトルウッズ協会の創立者のジョン・ムーアズ氏の後援によるものである。

三万七〇〇〇ポンドの援助

最近開かれたイングランド・バドミントン協会の役員会で、三万七〇〇〇ポンドの援助基金が設けられることが決定された。

同協会は、その規模にふさわしい予備基金もできたことであり、余剰金のいくばくかを、あらゆる分野への援助に使用することは当然のことと考えている。最初の〈A〉段階では二万三〇〇〇ポンドが使用される予定。

当初のシーズンでこの恩恵に与るのは、オープン試合への移行達成に大きな役割を持つバドミントン《プレーヤーたち》で関係者全員にとっていろんな点で大変な来シーズンに、援助をすべきだと協会は考えている。このために八〇〇〇ポンドの支出が予定されている。

その他に、いくつかの《現行の行事》にも支出をして、許される最高限度まで賞金を増額することによって、その競技に活気づけを行なう予定。

《各州の協会》にも、その州選手権参加費用の援助と、経常費の援助が行われる。

三〇〇〇ポンドが、「B」グループの訓練に当てられ、彼らの海外トーナメント参加が増えるようにする。

《本部》にも割り当てられた費用によって、設備を新しく、改善する。オープン・バドミントンに関連して、責任のますます大きくなる協会にとって必要となる計画の一つである。

役員会では、この他にも、ヨーロッパ・バドミントン連盟の発展その他の必要な費用について、二か月間の中に検討する予定。

謹弔、スレシュ・ゴエル

大変残念ながら、スレシュ・ゴエルが35歳で急逝したことを伝えねばならない。ヴァラノシで練習中、心臓発作により、ラケットを握ったままの急死だった。

彼は5度インド国内選手権保持者となり、英連邦大会に2度、オリンピック（ミュンヘン大会のデモンストレーション）に一度出場している。その《犠牲者》の中には、フィン・コベロ（デンマーク）、タン・アイク・ハン（マレーシア）、板垣（日本）がいるが、彼にとって最大の勝利は、17歳の時、あの偉大なデイン・エルランド・コプスを倒したことだろう。

全英選手権に4回出場。痩身の彼は、体力の不足を優美な芸術ともいえる技と、手首の巧みな切れ味で補っていた。

大いに惜しまれるスレシュ・ゴエルの死である。

役員のお仲間入り

イングランド・バドミントン協会は、デリク・タルボットとノラ・ペリー夫人が同協会の理事に選出された、また同時に、二人とも開発・計画委員会に加わることを要請されていると発表した。

これによって、協会とプレーヤーとの連携が強化されることが望まれる。言うまでもないことだが、デリクはバドミントン選手協会の会長である。

あの膝が……

マーガレット・ロックウッドのあの優雅でゆとりのある動きを観たことのある人にとっては

このシーズンの終盤まで、コート上で彼女の姿を見られそうにないということは悲しいことだろう。多勢の観客にとって、イングランドにとって、そして、もちろん彼女自身にとって大きな痛手である！

右膝の二度にわたる手術がうまくいかず、シーズン間近に、彼女は三度目の手術をうけた。先頃の楽観的な報告にもかかわらず、まだかなり痛みがあり、歩いて階段を降りられない。

剝離した軟骨をかなり取り除き、軟骨組織を削り、骨に穴をあけたとなれば、それも驚くにあたらないことかも知れない！

訓練のために、週2回、物理療法を受けているが、生きがいであるバドミントンから16か月も遠ざかっている彼女にとってみれば、その回復の経過は悲しいほどに遅い。「バドミントンができないなど考えるだけで恐ろしいわ」と彼女は言っている。

しかし、彼女は、ふしぎなほど悲観はしていない。長い、つらい試練かも知れないが、もし彼女のカンブリア魂が健在で、運命の女神が微笑んでくれればシーズンの終りには、マギー・ロックウッドは再びコートにその優雅な姿を見せるだろう。

幸運を祈る！

（いずれもバドミントン・ギャゼット11月号から）

1979年 全英選手権 視察団募集中!!

旅行期間：昭和54年３月18日(日)～３月30日(金)

総 費 用：￥435,000（トラベルローン利用可）

日本バドミントン協会では昨年にひき続いて上記視察団を企画、主催いたします。
世界の檜舞台で活躍する日本選手団を応援し，合わせて全世界の優秀選手のプレーを観戦する絶好のチャンスではないでしょうか。
皆様のご参加をお待ちしております。

ご 日 程

目次	月 日(曜)	地 名	現地時間	交通機関	予 定
1	昭和54年 ３月18日(日)	東京(成田)発 コペンハーゲン着	昼 夜	航空機	着後：ホテルへ （コペンハーゲン泊）
2 〜 3	３月19日(月) 〜 ３月20日(火)	コペンハーゲン			市内見学及び バドミントンクラブ訪問 （コペンハーゲン泊）
4	３月21日(水)	コペンハーゲン着 ロンドン 着	朝 昼	航空機	着後：市内見学 （ロンドン泊）
5 〜 7	３月22日(木) 〜 ３月24日(土)	ロンドン			全英選手権観戦及びバドミントンクラブ訪問 （ロンドン泊）
8	３月25日(日)	ロンドン 発 パ リ 着	朝 昼	航空機	着後：市内見学 （パリ泊）
9	３月26日(月)	パ リ			終日：自由行動(パリ泊)
10	３月27日(火)	パ リ 発 アテネ 着	朝 昼	航空機	着後：市内見学 （アテネ泊）
11	３月28日(水)	アテネ			終日・自由行動(アテネ泊)
12	３月29日(木)	アテネ 発	夕	航空機	
13	３月30日(金)	東京(成田)着	夜		着後解散

ご旅行条件

○総費用に含まれるもの
(1)全行程エコノミークラス航空運賃
(2)各地における空港／ホテル間の特別バス運賃
(3)ご日程に記載の各地市内見学及び試合観戦時のバス、ガイド料金、入場料金
(4)各地における一級ホテルの２人室（原則としてバス、トイレ付）にお２人の宿泊料金および税・サービス料金
(5)毎日の朝食と市内見学時の昼食料金及び各都市到着日の夕食料金
(6)お1人1個ずつのスーツケース運搬料金(20kg)
(7)団体行動中のチップおよび空港税
(8)全英選手権の入場料

○総費用にふくまれないもの
(1)海外渡航に要する費用：印紙代、予防接種、旅行保険、手数料(￥3,000)
(2)上記の食事条件に含まれない食事、および全行程のお飲み物代
(3)その他、個人的性質の諸費用(チップ、電話、クリーニング代など)

○全行程に渡り添乗員がお伴して、ご斡旋致します。

※募集人員は25名と致します。尚、お申込み金、お取り消し料、予締切日等につきましては別途御用意するパンフレットを御参照下さい。

お問合わせ及びお申込みは

〒160 東京都新宿区西新宿1-18-8 スカイビル内
㈱日本交通公社国内・海外団体旅行新宿支店

担当「1979年バドミントン全英選手権視察団」
木本グループ：大野・金田、Tel:03-346-2913

主催：日本バドミントン協会 旅行取扱い：日本交通公社
国内・海外団体旅行新宿支店

オーストラリアを訪れた日本チーム

各地で交流・親睦をふかめる

▼オーストラリア広報局提供

日本のバドミントン選手9名が、オーストラリア各地で開かれたトーナメントに参加した。

参加選手は、バドミントンのデビスカップともいうべきトマスカップ・オーストラレイシアゾーン予選に出場した銭谷欽治、飯野佳孝、土田証雄、辻敏弘、栂野尾昌一、池田信孝、尾崎幹雄君と、女子の徳田敦子、高田幹子さんである。

銭谷選手は、9月8日にバラットで行われたオーストラリア・チャンピオンシップに優勝した。

同チームは、9月12日、13日にタスマニア州のローンセストンで行われた国際競技会、15日から17日までメルボルンで開かれたシルバーボウル・インターカップ、24日、25日に西オーストラリアのパースで行われた大会に参加した。

そして日本チームは、滞豪中スポーツを通じ、いたるところで多くのオーストラリア人との交流を楽しんだ。

〈写真(上)は、練習の前にメルボルンの公園を散歩する日豪バドミントンの選手。左から徳田敦子、高田幹子、ビッキー・ヘイル、オードリー・スウェイビー。

写真(下)は、メルボルンのバドミントンセンターの裏にあるゴルフコースでプレー中のオーストラリア人と仲良くなった日本の選手。左から銭谷欽治、徳田敦子、高田幹子。

いずれも写真提供：オーストラリア広報局、写真撮影：エリック・ワズワース。〉





日本バドミントン協会からのお知らせ

◇トマス杯大会について

来年開かれるトマス杯（世界バドミントン選手権）大会インターゾーンの詳細が次のとおり決定いたしました。

◆会場

インドネシア・ジャカルタ市セナヤン・スタジアム

◆日時と対戦国

▽5月24日・25日＝(A)日本対パンアメリカン・ゾーン勝者

▽5月26日・27日＝(B)アジア・ゾーン勝者対ヨーロッパ・ゾーン勝者

▽5月28日・29日＝(C)インドネシア対(A)の勝者

▽6月1日・2日＝(B)の勝者対(C)の勝者

◇社名変更

このたび、社名変更および本社移転をいたしましたので、ここにお知らせいたします。

旧住所・大阪市西淀川区野里一ノ二三ノ二〇

旧社名・株式会社ベータ・システム

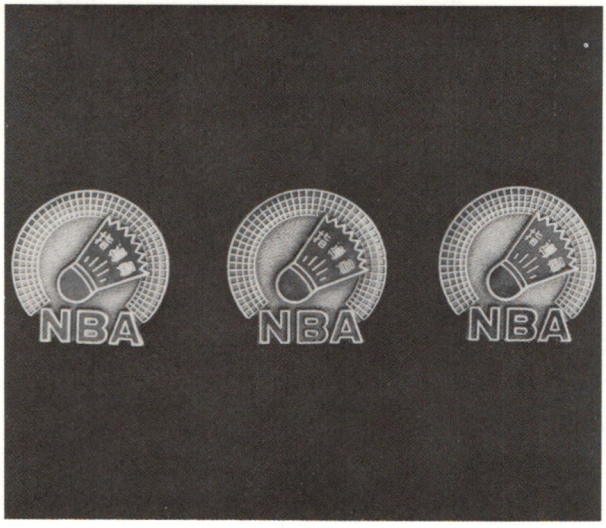
新住所・大阪府豊中市大島町三丁目ノ四ノ九

新社名・株式会社ベータ・スポーツ

なお代表取締役の変更はありません。

株式会社ベータ・スポーツ

代表取締役　橋本正記



新しい公認指導員のバッジ

◇公認指導員バッジについて

日本バドミントン協会では、このたび公認指導員バッジを制定いたしました。

このバッジは公認指導員資格取得時に資格証とともに交付いたします。

すでに資格を取得しワッペンの交付を受けている公認指導員が、バッジの交付希望の場合は、左記の価格で交付いたします。

1級＝1500円
2級＝1000円
3級＝1000円
（いずれも送料とも）

また、新たに資格を取得した公認指導員が、ワッペンの交付希望の場合も右と同様の価格で交付いたします。

どちらも希望者は、所属都道府県バドミントン協会へお申し込みください。

日本バドミントン協会

編集室から

◆本年の最後を飾るビッグ・イベント、全日本総合は、銭谷の男子シングルス3連覇をはじめ、徳田の女子シングルス初優勝など、話題の豊富だった78にふさわしい盛り上がりを見せ、無事幕を閉じました。編集・印刷の関係で本誌には間に合いませんでしたが、来月号に詳細を掲載いたしますので、お楽しみに!!

◆今年の国内の主な大会はすべて終わりましたが、ナショナル・チームには、バンコクで開催されるアジア大会が控えています。ユーバー杯チームが、強敵中国を相手に、どんな戦いぶりを見せるか、来年のトマス杯に備えて、男子チームがどこまでくい込めるか、大いに注目したいところです。

◆先月号でもお知らせしたように、新春には79ワールド・カップが行なわれます。新しき王者リム・スイ・キンや、インドの星プラカシュのプレーがついに日本でも見られるわけです。今から予定をたてて、見逃すことのないように!!

バドミントン界　通巻第110号　1978年12月号　定価 300円

昭和53年12月15日発行
編集人／赤星　三樹
発行人／秦　浩

©1978　無断転載を禁ず

発行所・日本バドミントン協会
郵便番号 150 東京都渋谷区神南1－1－1　岸記念体育会館
電話　03－467－3111(代表) 内線351
振替　東京5－9525(バドミントン界編集部)

サテライト大会
出場選手決定

選手の都合により一部変更になる場合もあります。ご了承ください。

1月13日 神戸大会
（神戸市立体育館）

〔男子〕

スミラット	VS	辻　敏弘
ジョリー	VS	銭谷　欽治
エディ スティブンス	VS	銭谷　欽治 中井　基夫

〔女子〕

ギルクス	VS	高田　幹子
イバンナ	VS	徳田　敦子
ダマヤンティ ガン	VS	徳田　敦子 高田　幹子
イバンナ テレシャ	VS	関根　和子 大塚ソノエ

1月13日 横浜大会
（横浜文化体育館）

〔男子〕

タルボット	VS	笠井　教行
クリスチャン	VS	小島　一平
チャンドラ クリスチャン	VS	池田　信孝 梅野尾昌一

〔女子〕

クラークソン	VS	湯本　博恵
ベラワティ	VS	石田ひとみ
イメルダ ベラワティ	VS	植野恵美子 米倉よし子

なお、各種目2試合の場合は、決勝戦も行ないます

1月14日 札幌大会
（道立中島スポーツセンター）

〔男子〕

タルボット	VS	小島　一平
ジョリー	VS	長谷川博幸
チャンドラ クリスチャン	VS	木村　敏男 遠藤　好男

〔女子〕

ベラワティ	VS	関根　和子
クラークソン	VS	米倉よし子
イメルダ ベラワティ	VS	関根　和子 大塚ソノエ
ダマヤンティ ガン	VS	植野恵美子 米倉よし子

1月14日 刈谷大会
（刈谷市立体育館）

〔男子〕

デルフス	VS	谷口　寛
M　ハンセン	VS	土田　証雄
デルフス スコブガード	VS	飯野　佳孝 土田　証雄

〔女子〕

コーペン	VS	千葉　陽子
ブリストル	VS	近藤　小織
ペリー スコブガード	VS	近藤　小織 渡辺多喜子

1月15日 長崎大会
（長崎国際体育館）

〔男子〕

スミラット	VS	銭谷　欽治
スティブンス	VS	辻　敏弘
エディ スティブンス	VS	池田　信孝 梅野尾昌一

〔女子〕

ビューセコム ギルクス	VS	湯木　博恵 石田ひとみ
イバンナ テレシャ	VS	谷　美津代 秋本　幸子

1月15日 仙台大会
（東北福祉大学体育館）

〔男子〕

デルフス	VS	土田　証雄
M　ハンセン	VS	飯野　佳孝
デルフス スコブガード	VS	田所　光男 大場　和博

〔女子〕

ブリストル	VS	近藤　小織
ペリー スコブガード	VS	徳田　敦子 高田　幹子

月刊「バドミントン界」12月号
昭和44年12月23日第3種郵便物認可　昭和53年12月15日発行（毎月1回15日発行通巻第110号）
発行所・東京都渋谷区神南1丁目1番地1号学記念体育館内　日本バドミントン協会　定価300円



B-9300 Carbonex3

●スリー……¥7,500（フレーム・ケース付）



B-8300 Carbonex7

●セブン……¥7,700（フレーム・ケース付）

パワー時代のラケット。先進のカーボン。

フレームにウッドと特殊アルミ合金の違いはあっても、この2本どちらも今世界のコートで大活躍中。ヨネックス独自のカーボンラケットです。カーボンシャフトのすさまじい弾性が強力なスマッシュを生み出します。そのうえスウィートスポットがぐんと広がり、シャトルをとらえる性能も確実。世界の一流プレイヤー達がパワーバドミントンを目ざしている現在、これこそまさにうってつけのもの。カーボンならヨネックスです。

●日本初のこと－このラケットにはRとXの表示があります。Rはレギュラーでスナップ打法用。Xはエキスパートでフルスイング打法用です。

YONEX®